

〔月刊〕

Journal of Image & Information Management





# 電子化の新春対談知識制造社会へ

シリコンバレー最先端IT企業とシスコ電子化ユーザー、サービスビューロ視察研修報告

### IT連携で新たな価値を生む 米国の文書管理

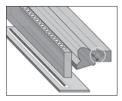
診療録等をスキャナ等により 電子化して保存する場合について





#### コンパクトで省エネ、CMOSコンタクトイメージセンサー。

一般的なスキャナーが縮小光学系のセンサーを使用しているのに対し、キヤノン のドキュメントスキャナーはより進化したCMOSコンタクトイメージセンサー (CIS: 等倍光学系センサー)を採用。センサー上に多数配列されたセルフォック



レンズにより、周辺部でも歪みの少ない高品位 でシャープな画像再現と文字の可読性の向上 を実現しました。また、原稿からの反射光が直 接センサーに届くことでさらなる小型・軽量化 が進み、コンパクトで機能的なデザインが可能 となりました。光路が短く、光源にLEDを使用 することで消費電力の削減を実現しています\*。

\*光源としての消費電力は、従来のCCD光学系+蛍光ランプに対し、CIS光学系+LEDでは約1/16

#### 多彩な原稿に柔軟に対応、信頼性の高い原稿給紙性能。

厚い紙や複写伝票、プラスチックカードまで多彩な種類の原稿に対応。さらに 超音波を利用した重送検知などで、トラブルの少ないスムーズな給紙を実現します。

#### 用途に応じた、使いやすいソフトウェア。

さまざまな用途や想定ユーザーに合わせたソフトウェア設計を行い、直感的 でシンプルな操作性を実現。ユーザーに快適なスキャン環境を提供します。

#### 最適画像を提供する、多彩な画像処理機能。

モアレや地色の除去、バインダ穴の消去、テキストエンハンスメント、ドロップアウト カラーなど、多彩な画像処理機能で目的に応じた最適な画像を生成します。

\*機種により搭載機能が異なりますので、詳細は弊社ホームページをご覧ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 canon.jp/imageformula

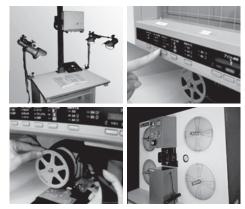


### **Document Scanning&Conversion**

すべてのドキュメントをデジタル化する デジタル化アドバイザー



(anag )emen



### **Digital** Conversion

マイクロフィルムデジタルコンバート コンサルティング

### Document Archives の最先端を行く

お客様の満足を目指して







ASAMI GROUP

関西写真工業株式会社 マイクロ撮影・電子ファイル

アサミクリエイト設計株式会社 / 機械・電機設計製図請負

アサミ写真情報株式会社 アサミ計測情報株式会社

GIS 構築・ソフトウエア開発

アサミテクノ株式会社

機械全般の設計業務請負 (2D3D CAD)

### Hſエイチ・エス

Image & Information Management Service LOOKING AT FUTURE OF OFFICE NEEDS

URL http://www.hs-shashin.co.jp

#### Address

本 社/553-0003 大阪市福島区福島4丁目8番15号 TEL 06-6453-4111 FAX 06-6453-3999

#### **HS Network**

03-3582-2961 部 06-6452-0101 044-244-5121 Ш テクニカルセンター 06-6453-6188 横 浜 045-751-6788 部 06-6461-9771 0770-23-7283 072-241-1839 若 0770-32-9150 072-469-3051 泉佐野 滋 智 0749-64-0847 戸 078-671-7488 都 075-671-7980

### **Panasonic**

**BUSINESS** 



上位機種の読み取りスピードと耐久性を実現 バックオフィスでの大量の読み取り業務に最適

A4ドキュメントスキャス

新登場!!

KV-S2087-N\* (NEW



### HIGH SPEED



### 高速読み取りを実現!! 大容量ADFを搭載!!

読み取りスピード 85 ppm/170 ipm<sup>※1</sup> (200/300 dpi、白黒/カラーも同速) 200枚※2 までの大量原稿を原稿トレイにセット可能



#### 消耗品ローラーの耐久性が大幅向上!!

消耗品ローラーの交換目安が35万枚と当社従来機種<sup>※3</sup>の約1.2倍に耐久性が向上

### **Uターンパス/ストレートパスと** 搬送方式を簡単切り換え可能!!

排紙方向セレクターにより、排紙方向の簡単切り替えが可能。 Uターンパス:20~157 g/m、ストレートパス:20~546 g/m の読み取りが可能



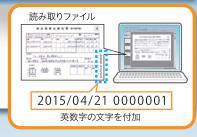
200枚素

原稿セット



### ポストインプリンター(オプション)と デジタルインプリンターが可能!!

(※1)読み取り速度は、当社において特定の条件で実測したおおよその参考値であり、保証値ではありません。 (※2)80 g/m 新紙の場合 (※3)当社KV-S2048CNとの比較による



パナソニック ドキュメントスキャナー ラインアップ

モデル品番はKV-S5076H、 KV-S5046H、KV-S2087です



KV-S7075CN



KV-S4085CWN **KV-S4065CWN** 



KV-S5076H-N3 KV-S5046H-N



KV-S2087-N



KV-S1065CN KV-S1046CN

お問い合わせは パナソニック システムネットワークス株式会社 オフィスプロダクツ事業部 グローバルマーケティング部 販売支援課 〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島4丁目1番62号



### 〔月刊〕

2016-1月号 通巻第540号

#### 月刊IM電子版は2015年5月28日より PDFダウンロード・プリント機能を追加 しました!

ダウンロードしたPDFならびにプリントは、著作 権法に則った範囲でご利用できます。 JIIMAに許可なく業務・頒布目的で利用した場合

は著作権法違反となり罰せられますのでご注意く



公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 高橋 通彦

付加価値で生産性が向上できる仕組みづくりを

台⋯⋯⋯⋯ 電子化の知識創造社会へ

富士ゼロックス株式会社

公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 高橋 通彦

シリコンバレー最先端IT企業とシスコ電子化ユーザー、サービスビューロ視察研修報告 12················ IT連携で新たな価値を生む米国の文書管理

株式会社アピックス 森田 一之・濱辺 秀男

【わが館のお宝文書】

17…… 大分県公文書館所蔵 太政官伺書類

厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.2版」運用のための解説書概要

18……… 診療録等をスキャナ等により電子化して保存する場合について

新市場開拓委員会 医療WG

日本イメージ情報業連合会 第39回総会仙台大会

22…… 復興に期待を寄せて

日本イメージ情報業連合会 五十畑 嘉 24………… 東日本大震災を経験して感じた保存文書の重要性

石巻市 近藤 順一

もっと知りたい!! JIIMAの委員会・ワーキンググループ (WG)

26 ..... 第3回 アーカイブ委員会 光メディアWG

10 ·············· 平成28年度JIIMA賀詞交歓会開催のご案内

35 ····· 月刊IM 2015 主要記事目録

28・・・・・・・ ニュース・ア・ラ・カルト ● 2014年度税務統計 「スキャナ保存承認件数」 152件

● ビジネスアーカイブズの日 企業の情報発信力を問う

● 図書館・関連業界をつなぐ17回図書館総合展開催 ● 情報活用とイノベーション ウイングアークフォーラム開催

● 電子帳簿保存法 申請事例も続々? 各所で改正セミナー

● 米国と中国 サイバーセキュリティ協力の強化に合意

● 韓国 電子カルテ、クラウド保存が可能になる?

● 各社ニュース

30..... コラム 晴天なれど遠霞 「等身大の人間像の方が面白い」

3] ----- 新製品紹介 imagePROGRAF iPF770 MFP

● DocuWide 9098a

32 新入会員紹介 ● アイエックス・オープンシステム株式会社

● 東京レコードマネジメント株式会社 34····· ■ JIIMAニュース

委員公募・寄付のお願い・各種資格セミナー案内 ………… 21頁 38..... ■ IM編集委員から 税務関係書類の電子化保存運用ガイドライン Ver.3 ……後1

キヤノン電子株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表2
株式会社PFU	表3
文書情報管理士検定試験のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表4
エイチ・エス写真技術株式会社	前1
パナソニックシステムネットワークス株式会社	前2
富士ゼロックス株式会社	11頁

株式会社アピックス16頁	
株式会社インフォマージュ29頁	
株式会社横浜マイクロシステム31頁	
関東イメージ情報業連合会後2	
コーカミ ノルタビジネス・ハリューションズ株式会社 後4	



#### 公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 (JIIMA) 高橋通彦 理事長

新年あけましておめでとうございます。

昨年は日本経済も復調気味でスタートしましたが、 新興国や中国経済の減速、米国利上げ予想、ISテロ 問題など外部要因による不安定な動きを見せており、 わが業界も気が抜けない年となりました。

しかしわれわれ業界にとっては、関係する法律や 政省令の改正が数多く行われた年でもあり、ビジネ スチャンスの芽が出てきた年でもあります。

今年は積極的にそれらの普及啓発活動を行うとと もに、ビジネスチャンスを具体化する年です。

法改正の第一はe-文書法(税務関係書類のスキャ ナ保存)の規制緩和です。JIIMAが永年取り組ん できた課題で、昨年3月電子帳簿保存法の施行規則 (財務省令) の改正が公布されました。それに伴う 通達やQ&Aも公開され、新制度による申請は9月 から受け付けが開始されました。

この規制緩和は、各企業の保有する税務関係書類の 電子化保存を緩和するもので、単に税務関係書類の電 子化を進めるだけにとどまらず、国が保存を義務付け ている多くの書類や、企業が独自に保存する経営資料、 研究・技術資料、営業資料等多くの文書を電子化や 電子文書化へ波及するトリガーとなるものです。

この意味で、e-文書法(スキャナ保存)規制緩和 の周知徹底と各社のスキャナ保存の実施は大変重要 であり、JIIMAは最優先課題として取り組んでま いります。すでに昨年来、規制緩和の内容説明会(5 回)、通達・Q&Aセミナー(2回)、e-文書法++ 資格認定セミナーを実施しています。

今年はスマートフォンなどによる入力を可能とする 追加規制緩和の実現や、その内容を解説するセミ ナー、e-文書法++の資格認定セミナーの拡充、規 制緩和後の申請企業の事例発表など、様々な普及啓 発に努めます。

第二はマイナンバー。永年懸案の個人ナンバーを 全国民に付与する制度で、当面は税や社会保障の分 野で利用されますが、将来的には個人認証機能を利 用して非常に多くの分野で活用されていく予定です。 業界としては、マイナンバー利用システムの開発や カスタマイズ化、マイナンバーの収集・保存をはじ めとするアウトソーシングビジネス、自治体保有の 紙台帳の電子化等多くのビジネスチャンスが発生し ていくでしょう。

その他関連する法令の改正としては、会社法、個 人情報保護法、不正競争防止法、建築三法の図面、 竣工図書の保存年限長期化の改正とガイドラインの 制定、研究活動の不正行為に対するガイドラインの 制定等、文書情報の記録と保存に関係する多くの社 会ルールが改正、制定されております。これらの普



及にも努めてまいります。

また今年のIIIMAの大きな制度改革としては、文 書情報管理士の試験方法をペーパー試験からCBT (Computer Based Testing)に変更します。これによ り全国160か所で受験でき、地域における受験機会 の均等化を図ります。受験日を冬、夏おのおの40日 間の中で選択することも可能となり、試験期間が大幅 に増えます。さらに受験直後に合否判定が可能とな る等の受験者に多くのメリットがあります。JIIMAに とっても試験運営の効率化に繋がる効果があります。

そして今年はIIIMAビジョンの改正の年です。 IIIMAはその将来展望をビジョンとして発表し、そ れに基づき活動しています。現在の「ビジョン 2012」は "紙から電子の社会をめざして当面ハイブ リッド業務モデルの実現に取り組む"としています。

新「ビジョン2016」作成のため、今期初めより委 員長クラスによる "電子文書社会に向けた課題研究 会(EDSW)"を発足させ、その結果の答申をうけ、今 年はそれをベースに理事クラスによる戦略会議をス タートし2020年までの新ビジョンを完成させます。

国も "世界最先端IT国家創造宣言" の実現に取り 組んでおり、われわれは新ビジョンの電子文書社会 の実現を通じ、豊かな社会実現の一翼を担おうとす るものです。

今回作成する「ビジョン2016」は、特に社会生産 性の高い電子文書社会の実現を目指そうとするもの で、協会を囲む環境変化を睨みながら協会の新ミッ ション-2020年に向けて施策などの作成に取り組 んでいきます。

JIIMAの中核を成す各委員会の活動は今年も活発 に行われます。ナレッジ系委員会(ECM、アーカ イブ、標準化、法務、新市場開拓、DMC、文書情 報管理、電子契約)、普及・啓発系委員会(ショウ・ セミナー・IMナレッジ)、人材育成系委員会(文書 情報管理士、文書情報マネージャー)、製品認証系 委員会、新たに事業基盤強化系委員会(渉外)も発 足します。サブワーキング委員会も10を数え、それ ぞれ活発に活動します。

このようにJIIMAは今年も当面の課題と将来に向 けた課題の両面に向け、鋭意取り組んでまいります。 結果として社会生産性の高い文書情報社会が構築さ れ、会員企業の発展に繋がればと願っています。

JIIMA活動は日ごろの皆様方のご支援とご協力な しには成り立ちません。どうか今年も倍旧のご支援 を賜りたくお願い申し上げます。

最後になりましたが会員企業、関連団体、関連省 庁の発展と皆様方のご健勝をお祈りし、新年の挨拶 といたします。



富士ゼロックス株式会社 栗原 博代表取締役社長



公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 高橋 通彦 瑪長

昨年、JIIMA施策のひとつとして叶えた税務関係書類電子化の要件緩和。電子化の波 は民間企業にどのように波及するのだろうか。JIIMA会員として古くから文書管理に 携わってきた富士ゼロックス。就任したばかりの栗原博社長にJIIMA高橋通彦理事長 が展望を聞く。

司会: IM ナレッジコンテンツ委員会担当理事 河村武敏

#### 2016年のオフィス戦略

司会 本日はお忙しいところありがとうございます。2016 年の幕開けとして、業界をリードする富士ゼロックスさんと 今年の展望をしていただきたいと思います。

高橋 あけましておめでとうございます。このたびは社長就 任おめでとうございます。

栗原 ありがとうございます。

高橋 社長になられていかがですか。まずは抱負などお聞か せください。

栗原 そうですね、私が社長として取り組むことは、お客様 が求める「高付加価値化」を実現するために「知識」や「知」 をドキュメントという形態にして、それを活用するプロセス を社会に提供していくことだと思っています。

弊社は企業理念を常に大切にしており、何かあったらそこ に立ち返るという気持ちを込めて「知の創造と活用をすすめ

る環境の構築」をミッションステートメントのひとつとして 掲げています。お客さまは高付加価値を求めており、経営資 源としての「知」や「知識」が競争力を左右すると考えてい ます、その「知」や「知識」を紙にとどまらない画像・音声・ テキスト情報をドキュメントというかたちに変えて、活用す るプロセスを社会に提供していきたいと思っています。世の 中だんだんと知識創造社会に移ってきて、新しいICT技術の 進展に密接に絡みながら進んでいます。弊社はご存じの通り 複写機でスタートした会社ですが、今やドキュメントがクラ ウドに保管され、SNSで拡散し、それが蓄積されてビッグ データとなる時代です。こうした範囲に事業領域を広げながら お客様の価値創造をお手伝いしていきたいと思っております。

これまでのオフィスを中心とした働き方が、オフィスに限 らないような働き方になってきています。地域社会とどう関 わるのか、あるいはコミュニティというものをどう捉えてい くのか、このあたりの情報を含めて提供できるサービス、提 供できるソリューションを一層加速させ広げていくことが社 知の創造と活用をすすめる環境の構築

世界の相互信頼と文化の発展への貢献

一人ひとりの成長の 実感と喜びの実現

富士ゼロックスの理念: 私たちが目指すもの

長としての役割だと思っています。

**高橋** 富士ゼロックスさんというと、現在は複合機のイメージが強いですが、具体的にはどのような事業を展開されていますか?

**栗原** 文書管理の側面で言いますと、複合機というハード面はもちろんですが、弊社のドキュメントハンドリングソフトウェア「DucuWorks」(ドキュワークス)を入り口とした文書の電子化、文書管理ソリューションの提供をグローバルに展開しています。

**高橋** 御社はヘルスケアに力を入れておられますね。

**栗原** 今は業種と業務を横軸と縦軸においた取り組みを進めており、特に大きな成果が出ているのは、医療のほかに製造(図面)・金融、教育、一部輸出入にまつわるドキュメントの電子化、簡素化、見える化です。

#### 紙文書中心の政府から改革を

高橋 御社は、思えばJIIMA設立初から会員として参加されていており、ずいぶん協会活動に尽力いただきました。昔はマイクロ写真の複写や図面のマイクロ化などされていましたね。

栗原 創立53年になります。

高橋 JIIMAは57年ですからともに古くから歩んできたのですね。JIIMAも時代の流れに合わせて名称や普及活動のあり方も変化させてきました。今もビジョンの見直しをしているところなのですが、おっしゃる通りオフィスという概念が以前とかなり変わり「どこでもオフィス」という考えがでてきて、そのなかで我々のミッションは何かと考えています。すると「社会生産性」というキーワードが出てくるのです。オフィス、製造部門や研究部門、家庭や各種のコミュニティ、社会のいろんな場面で業務の生産性が重視されてきます。

文書情報マネジメントは安倍総理がいう「真のIT国家」 の基盤になります。しかし政府はITを連呼するものの、多



くりはら ひるし

くの部門でいまだ紙を重要視されているのが実情です。このままでは真のIT国家にはなれません。文書の電子化は生産性を上げる最低限の条件ですから、我々はそこを担って、紙文書中心の社会を変えて行こうとしています。

**栗原** 確かにそうですね。霞が関に参りますと、みなさん紙のなかで仕事されていますね。うず高く積まれた書類のなかから必要な文書をうまく探し出されます。中央省庁でのドキュメントにしたためられた内容というのはまさに「知や知識の集約されたもの」でしょうから、ドキュメントを活用しやすい環境を作ることが大切ではないでしょうか。無駄や無理は仕事の効率化を阻害している大きな要因につながると思います。

私はホワイトカラーの生産性をあげるためには、霞が関の中央省庁の官僚の皆様のリーダーシップが重要だと考えています。霞が関のオフィス環境を大きく変えることができれば、日本の企業社会の生産性を飛躍的に向上させることができるのではないかと、密かにターゲットにしようと考えています。高橋 そうですか。紙と電子の比率がどうなっているかを比較すると、先日アメリカに研修ツアーに行ってきましたが、アメリカは電子化50%、紙が50%という話でした。一昨年のヨーロッパの視察では、ドイツが一番紙を残しており50%、イギリス・フランスあたりは80%が電子化されていました。

日本は霞が関に関して言えば、公文書と名のつくものは95% が紙なのです。まさに「知の塊が紙」なのです。

アメリカは意識が徹底していて、「国のものは国民のもの」 という考え方が浸透していています。国の記録は原則国民の ために残し公開していく。その透明性・効率性・説明責任の ために電子記録で管理する。このための体制を2019年まで に確立するという計画が進んでいます。

これから霞が関も変わるのではなかろうかと期待していま すが。

栗原 国の中枢も変わらないといけませんね。電子化や公開 は中央省庁のみならず自治体を含めて社会が変わる一つのメ ジャーメントです。

#### 規制緩和で進む電子化

高橋 ところで昨年、税務関係書類の電子化の規制緩和が進 みましたが、どうとらえていらっしゃいますか?

栗原 e-文書法、昨年9月に再スタートですね。これからは 様々な組織や企業で電子化が促進されてスピードも加速して いくと思われます。これまでのe-文書法もお客様へは提案し てきましたが、企業が取り組むべき項目のうち優先順位が高 いとは言えず、十分浸透しませんでした。ですがハードルも 低くなったので、これからは直球勝負できます。

確かこの規制緩和についてはご苦労されたのですよね? 高橋 e-文書法については私が理事長になった頃、法律を作 るというところから当局と話し合って要件を決めていきまし た。当時は国税側に改ざん懸念をはじめ大変な抵抗があって、 電子化の要件を難しくしてしまったのです。ハードルを低く してほしいと頑張りましたが、なかなか折り合わずスタート したのが最初のe-文書法です。

案の定なかなか浸透はしませんでした。法律の要件の厳し さと複雑さに加え、運用の難しさ、各所でバラバラな意見が あったりと、企業側が混乱して進まなくなってしまったので す。これではいけないということで、経団連を交えて国税と 話し合い、統一見解を出してもらいました。しかしそれでも なかなか企業の理解が得られず、ついていけない状況が続き ました。そこで徹底的に規制緩和の運動をしたのがこのたび の改正につながったわけです。

栗原 それはそれは。理事長就任時からということは10年以 上もかかって実ったわけですね。

高橋 それでもまだ充分ではないのですが、かなりな部分で



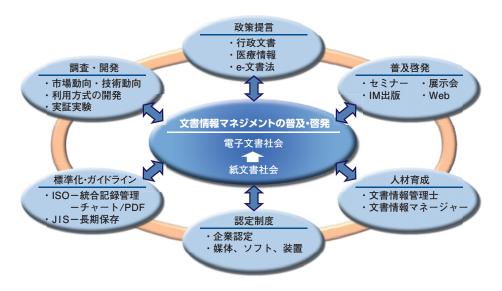
たかはし、みちひこ

緩和されました。今は世の中の事情も変わり、やはり電子化 は効率化につながるという意識が国税にも出てきて、最近で は国税側もなんとか普及させたいと思われているようです。 紙をめくれば改ざんなどを調べられるなどとよく言われたも のですが、もうそんなことで対応できる世の中ではありませ ん。我々はこの規制緩和が電子文書社会のトリガーになると 考えています。

#### 文書に「知」の付加価値を

**栗原** ドキュメントをどう活用して、保存・蓄積していき、新 たな知を仕立て直すというようなことは業種・業務に関わらず 共通するテーマです。いかに旧態以前のビジネスプロセスを 変革していくのかという取り組みはビジネスの基軸ですね。 高橋 我々の目的は文書情報マネジメントの普及ですが、 メーカーはメーカーの役割、ベンダーはベンダーの役割、サー ビスビューローはサービスビューローの役割がありますので、 それを統合された形で世の中にアピールできれば効果が大き いと考え、そういう機会をたくさん作っていきたいと思って います。

**栗原** ヘルスケアの話をしますと、東日本大震災のあと被災 地に入りましたが、仮設の病院に来られる先生がボランティ アなものですから常に交代される。すると患者さんがいつも 同じことを聞かれるのですね、薬はどうか、血圧はどうかと。 この不満を聞きまして我々は、こうした混乱のなかでも使え るような仕組みを作ることを考えました。単に医療情報を電



紙文書社会から電子文書社会をめざし、当面ハイブリッド業務モデルの実現に取り組む2012年のJIIMAビジョン。 新ビジョンは、これをさらに進化させ、社会生産性の高い電子文書社会の実現を目指していく。

子化するだけでなく、たとえば家族構成や趣味なども医者に とっては貴重な判断材料なのです。そういう情報を仕組みと して被災地で提供していくと、御社は複写機ばかり作ってい ると思っていましたが、随分イメージが違いますねと言われ たものです (笑)。

高橋 いずれにしても文書を単に記録して保管するというば かりではダメで、それを使って何をやるのかというのが非常 に重要なポイントです。

協会の新しいビジョンの議論の中では、いろんな場面で社 会生産性を上げなければいけない、ワークスタイルも変えな ければならない、それのキーとして電子文書情報があるとい うことを言っております。

紙と電子文書の関係は、最初は「紙は紙」、「電子は電子」 という環境が、次第にそれらがインデックスなどでつながっ て共存する「ハイブリッド時代」になりました。今度はそれ



をもっと進めて融合さ せるという時代を目指 します。デジタルもア ナログも乗り越えて融 合できないかと議論し ているところです。

栗原 まさにそれが価 値あることですよね。

単純に紙を減らすと

いうことや単に電子化 するという発想でした ら長続きしませんし、 結局はキリがなくて電 子のごみ箱で終わって います。これに意味情 報を加えればそれが活 用につながります。 あっという間にできる



ことが拡大し生産性に拍車がかかります。

高橋 これまで我々は、紙をなくそう、なくそうとしてきま したが、逆に言えば必要な紙は残しておいてもいいじゃない かと思い直しています。紙の良さはそのものの原本性が高い ことや、すぐに見たり、道具がなくとも読めたりというよう な使い勝手がいいところです。それも生かし使いながら管理 は電子でする。電子での管理は圧倒的に優れています。保存 についても技術的には問題ありませんし、改ざんの心配には 電子署名やタイムスタンプなども並行してやればいいのです。 つまり良いとこ取りすればいいと思っています。紙は必要が なくなった時点で捨てていく、という時代を早く進めないと いけないと思っています。もちろん電子で始まり、電子で完 結するのがこれからの主流ですが。

**栗原** 紙は悪者になっていますがおっしゃる通り、減らすの を目的にするとダイエットと同じでリバウンドが起こります

ね。ある時期からまた増えていくでしょう。目的は効率を図ることと生産性を上げることです。紙があった方がいい場合はそのまま残す。フローの仕方によって変えていく。ごくごく当たり前のところに落ち着くように思います。

#### 会員と一体になって広げる普及促進

高橋 ビジョンなどJIIMAの活動方針などお話ししました が、協会にご要望などありますか?

栗原 そうですね、JIIMAは公益法人ですから、いち企業、いち個人では変えられないことを束ねて行政に働きかけていただきたいと思っています。これまでもいろんな働きかけをされてきたとは思いますが、具体的なビジョンを示していただく、明確に示していただいて、政府にアピールしていただきたいと思います。会員が200社あるのですから、皆で協力すれば、ある種の絵が描ける、実行する力もあると思います。そして政府の実証実験などにも積極的に関わってください。ICTの進歩に合わせた文書管理の普及活動を期待しています。高橋わかりました。JIIMA活動はどうしても専門的で縦割りになってしまいがちですので横串でも活動を強化できるようにし、総合的な取り組みで成果が分かる形で世の中にア

ピールして参ります。

**栗原** それは楽しみです。JIIMAの訴求する社会が具現化 されることを大いに期待しています。

高橋 我々も富士ゼロックスさんに期待しています。ともに 文書情報マネジメントの世界を動かしていきましょう。

司会 本日はありがとうございました。



### 平成28年度JIIMA賀詞交歓会開催のご案内

希望に向けた新年を迎え、JIIMA会員企業や委員会メンバーが一堂に会し、国会議員の先生方や経済産業省・総務省・国会図書館・国立公文書館等の関係省庁や有識者の皆様をお迎えする賀詞交歓会を下記により開催いたします。

会員企業の親睦と相互交流を図る絶好の機会です。お気軽にご参加ください。

日 時

平成28年1月13日(水) 18:30~(受付開始18:00)

場所

如水会館 オリオンルーム(2階)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 TEL: 03-3261-1101

\*地下鉄半蔵門線・三田線「神保町」A9出口より、徒歩3分

\*地下鉄東西線「竹橋」1 b 出口より、徒歩4分

会 費

10,000円/人

会費につきましては、当日会場受付にてお願い致します。

お申込み

JIIMA事務局 03-5821-7351 ※会員以外の方もご参加いただけます。

### 複合機が、クラウドする。



複合機「ApeosPort」は、富士ゼロックスのクラウドサービス「Working Folder\*1」に接続できる機能を標準搭載。 情報共有の出入口として、さらに進化しました。

クラウド上のフォルダーに複合機から直接アクセスできることで、文書の登録やダウンロード、 さらに出先からの出力指示も可能になります。

例えば、外出先でもPCや、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末から「Working Folder」を参照することで\*2、複合機で受信したファクスを閲覧できる「ペーパーレスファクス受信」環境を構築し、業務の効率化を支援。インターネットを介して、複合機、PC、モバイル端末が連携することで実現した、場所に縛られない情報共有により、オフィスに新たなクラウドの使い方を提案します。

- ※1 インターネット上のドキュメント共有環境を提供する月額課金制のクラウドサービス
- ※2 DocuWorks Folder for iOS / for Android が必要です。

複合機から新しいオフィスを考える。

ApeosPort-V C7776 / C6676 / C5576 / C4476 / C3376 / C2276

富士ゼロックス株式会社 www.fujixerox.co.jp/ 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

ご意見、ご相談などはお客様相談センターへ。0120-27-4100 | 受付時間 | 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝除く) Xerox、Xerox口ゴ、およびFuji Xerox口ゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。







JIIMAの2015年の米国研修は10月19日(月)~23日(金)の間、シリコンバレー、 サンフランシスコなどの企業を視察するツアーでした。情報と記録管理で最先 端をいくアメリカの市場動向と事例および最新技術について知見を得ること、 加えて世界的なIT企業の一大拠点となるシリコンバレーを肌で感じることを目 的に参加させていただきました。

株式会社アピックス 営業本部

Facebook本社前で「いいね!」ポーズで記念撮影

濱辺 秀男

#### 米国の文書情報マネジメント最新事情



#### 訪問先 PFU社 (10月19日PM)

AIIMボードメンバーでFUJITSUアドバイザーのMs. Pamela Key Doyleさんから米国の市場動向を中心にレク チャーを受けた。

Pamela key Doyleさんは、EMC社によると2020年までに 全世界で40ゼッタバイト1のコンテンツをコントロールするよ



うになるとの事。それ は会社規模に関係なく eMail、SNS、音声が 新しい情報源として増 加していることがあげ られると説明された。

しかしその一方ではまだまだ企業が扱うビジネスドキュメン トは50%以上が紙となっていると話された。

米国の企業の75%はCM (コンテンツマネジメント)シス テムを導入しているが、それらの管理、運用についてはまだ まだ部門レベルのもので、60%以上がシステム外にあるため 企業全体の情報として紐付いていないのが現状である。また 全ての企業でセキュリティ侵害の対象となるという話で、情 報漏洩を1件起せば平均5.4ミリオンドル(約6.5億円)の費 用が発生するため、漏洩させた企業の60%は6ヶ月以内に倒 産している事実がある。しかしそれらについては古いシステ ムでは対処できなくなっているため、企業は管理を専門の会 社にアウトソーシングすることがトレンドになっている。

1 ゼッタバイト = 1TBの10億倍



別の課題としてITの大衆化がある。2017年までに人々の 87%がクラウドにつながるタブレットやスマートフォンを持 つようになり情報は増え続ける。Pamelaさんは「情報は世界 の新しい通貨(Information is the World's new currency)」 であり、情報をうまく扱うことが企業の価値を高めることは 必至で、78%の企業がお金より情報が重要だと考えている。 情報を管理し、分析し新しい価値を見い出し活用することが 重要であり、情報ガバナンスのポイントでもあると言われた。

市場動向とニーズを伺う中で、弊社は情報加工をメインの サービスとしているが、パートナー会社との連携でハード、 ソフト、情報管理を含めたマルチソーシングに対応すること がエンドユーザーに対する一層の価値提供であると感じた。

サンフランシスコ到着後直ぐの移動で、最初の訪問先と なったPFU社であるが日本では見られない広大な公園のよ うな敷地に低層の事務所が点在している風景を見て米国らし さを感じ、海外視察のスイッチがここから一気にはいること となった。

#### シリコンバレー OCRソフトベンダー事情



#### 訪問先 ABBYY (10月20日AM)



北米本社責任者のス ティーブキンケルさん、 日本法人統括シニアディ レクターの小原さんより 会社および製品概要の説 明とケーススタディの紹

介をうけた。

ABBYYは1989年創業、本社をモスクワに持ち、北米・ヨー ロッパ・日本などワールドワイドにビジネスを展開する企業だ。 OCR、データキャプチャ、翻訳ソフトを主力商品として Fuji Xerox、Canonはじめ世界的な大手メーカーの機器に 採用され、年間93億ページ以上の文書の処理に使用されてい

る。それらは多業種にも導入され多くの様々なビジネスプロ セスの効率化に貢献している。ユーザーは3,000万人を数える。

最近の市場動向については、ページ処理→データキャプ チャ後に有効なデータ活用を目的としたデータマイニングを 行うケースが増えているとのこと。

ケーススタディとして、2社をあげられた。ひとつは PEPSICO社のワールドワイドな請求書処理の事例だ。 SAPへの入力をABBYY社の製品「Flexi Capture for Invoices」を導入し、従来の手入力から自動化しエラー率 と処理時間の削減を実現、経理部門の業務効率化に貢献し たとのこと。CMD (ConstructionManagementData) 社で は毎年3,500万ページの建設関係データをOCRと文書変換の ために156のCPUコアで構成されるRecognition Serverで文 書準備と検証のためのリソースを最小限に抑えた運用に成功 したという事だ。

企業、個人とも将来ますます増えるクラウドでの情報管理も 見据えたモバイルでのキャプチャソリューション、またデー タの解析により情報をより価値化し有効活用する製品開発の 説明もあり、その技術と取り組みは大いに勉強になった。

ABBYY社 小原さんには以降の訪問先での通訳もお世話 になることになるが、非常に丁寧に我々が理解できるよう言

葉を選んで説明いただき、 また質問に対しても我々 の聞きたいことを的確に 相手側に伝えてくださっ た。おかげで一層理解が 深まり、より充実した研 修になった。



#### PDFデータの現状と 将来の電子化運用についてのディスカッショ

#### 訪問先 Adobe (10月20日PM)

エバンジェリスト (IT伝道師) のMr.Leonard Rosenthol さんを中心にPDFデータの現状と将来の電子化運用につい てディスカッションを行った。米国で重要なことは、ストレ

ジの中の文書をクラウ ドに展開することと考 えられており、Adobe 社もそれをいかに効率 的に低コストで実現す るかに関心がある。ク





ラウドへの展開は運用コストの削減だけに限らず、新機能が 直ぐに追加できることにあり、Adobe社はマイクロソフト のクラウドストレージと協業し、クラウドであれば数10億 ページの取扱いができ、多数のドキュメントを検索したり、 分析したりすることが可能になると話された。

米国には、金融関係のPCI (Payment Card Industry) というセキュリティ規格があって、Adobe社はその仕組みをすぐに提供できる。インテリジェンスに検索と分析ができるもので、それを利用すれば契約書や請求書に対してどのユーザーが閲覧したかがわかるようになっており、それが米国ではドキュメント管理のトレンドである。

また政府に限っては手書きの署名が主流であるとのこと。

ちょうど隣接した会場ではPDFカンファレンスが開催されており、ここではPDFの将来の方向性について議論されていた。PC上に表示されるPDFページをモバイル端末上でも、HTMLのように、画面サイズに合わせた形で表示させるという試みが議論されていたようだ。Adobe社によると世界には2.5兆のPDF文書が存在しているということだ。

電子化を推進している立場もありAdobe社では、社内文書を今年中には100%電子文書とする見込みである。デジタル署名サービスのDocuSignもEchoSignも堅調で、これはデジタル化への流れを示すものだが真のデジタル化は次の世代になる。課題はデジタルデータのアーカイブ、オリジナルの判定とのことであった。

社内での「電子文書100%」については言行一致の企業姿勢に感心した。日本でも外資系企業を中心にフリーアドレスのオフィスが増加しており、従来デスク内で管理していた紙文書が電子化されることで弊社もビジネスにもなっているが、そこから先の運用についても事例情報などウォッチしながらビジネスチャンス見つけていきたい。

#### サービスラボ視察

#### 訪問先 BMI Imaging System (10月21日AM)

BMI Imaging System (以下、BMI社) は、1953 年の創業。マイクロフィル ム、紙文書のスキャンのオ ンサイト、オフサイトの電 子化を主要業務として、主



な顧客は政府・自治体、ヘルスケア関連である。

最初に、社長のBill Whitneyさんから会社の紹介などを受けたのちラボ内を見学した。マイクロフィルム関連設備、建築図面のスキャナ、保管庫には裁判所関係のフィルムが保管されていた。

米国では、政府の関連文書や軍の文書は全てマイクロフィルム化しなければならない規制があり、作業が一定量存在するにもかかわらず、日本と同じく技術者は減り続けており、専門的な知識をもつスタッフは貴重な存在となっている。

BMI社は、独自開発のシステムにより、業務効率の最適 化と品質の確保を実現している。

ひとつは、「UNITY SYSTEM」で、進捗管理、品質管理・保証から営業の成績、作業員の生産性を管理するMIS (Management Information System) である。

各工程の進捗情報や品質情報を自動収集し、ダッシュボードに表示し、見える化を図っている。10年前から改良を重ねながら運用しており、ダッシュボードの情報は、社内での管理のほか、顧客からも見えるようになっている。社内にIT技術者を抱えており、このシステムも独自に開発している。

マイクロフィルムのスキャニングの品質保証に関しては、「DIGITAL REEL」と呼ぶシステムを使用し、もれなくスキャンしイメージが読めるよう課題を克服している。こちらのシステムも独自で開発し品質を保証している。具体的には、マイクロフィルム・マイクロフィッシュイメージのデジタル



レプリカを作成すると共に、2値及びグレースケールの両方 の情報を保持し、2値で読めない場合はグレースケールを適 用している。また、OCRによりテキスト情報を抽出、PDF、 TIFF、JPEGフォーマットに変換している。

スキャンされた情報はクラウドに格納され、顧客からアク セスできるようになっておりその課金体系もできている。

弊社も3年前にMISを導入しているが、BMI社のものは非 常にわかりやすくかつ営業成績~工程管理まで一貫した見え る化がよくできており非常に参考となった。

BMI社はラボとして情報加工サービスに資源を集中され ていること、また紹介した独自の優れたシステムを武器に業 績も堅調と聞き、システムを説明いただいた幹部社員の方が 「受注減で困ることなんてありえない、仕事はあふれている」と いったような自信満々のコメントを聞き大いに刺激を受けた。

#### シリコンバレー 市役所ペーパーレス運用事例

#### 訪問先 Palo Alto市役所 (10月21日PM)

パロアルト市役所は、自治体 では全米で初めて書類や記録管 理の完全ペーパーレス化を志向 し、ドキュメントをクラウドに 移行することをまずは調達部門 から進めている。同市役所の調



達責任者Mr.John Monteneroさんから説明を受けた後、デ モを見学した。

同市役所は、9か月前までは文書は紙中心であった。それ らはキャビネットで保管され、その検索に執務時間の20~ 30%を費やしていた。文書をクラウドに移したことにより、 ファイルの取り扱いにかかっていた時間が約85%削減され た。またセキュリティが強化され、監査対応にかかっていた 時間も30%が削減され、オフィススペースも25%広がった。

現状一部紙での運用は継続されているものもあるが、大き な効果があらわれ職員の士気も大いにあがったという。

またリテンションスケジュールに従って、文書の保存期限



の処理は自動化され、これ まで手動で行われていた 購入作業もすべてデジタ ル化された。

これからの課題はペー パレス化に伴う、市役所内 の視聴覚障害者対応があげられる。

市民に対しては、印刷可能なキオスク端末が用意されている。

#### IT先端企業見学

#### 訪問先 Apple社 (10月21日PM)

Apple Campusから本社外観を見学。Campus内のApple Company Storeでは日本では見かけないデザインのTシャ

ツやタンブラーなどが販売さ れており、メンバーも企業訪 問時とはまた違った目の輝き で自分や同僚へのお土産を購 入していた。



#### 訪問先 Google社 (10月21日PM)



本社玄関でメンバー全員で記 念撮影。屋外敷地内にはAndroid のキャラクター「ドロイド君」 のモニュメントやストリート ビュー車が設置され、また個別 に記念撮影。広い敷地内に点在

する社屋を見ながらロゴデザインに代表される自由な発想が この環境から生まれるのだと実感した。

#### 訪問先 Facebook社 (10月21日PM)

本社玄関前でメンバー全員で お約束の「いいね!|ポーズを 決めて記念撮影 (P12)。今回参 加されたメンバーは各社期待の 若手精鋭スタッフの方が多く、 ITを代表するこの3社の訪問を



楽しみにされていたのか3日目の疲れを忘れ生き生きとされ ていた。

#### Computer History Museum (コンピュータ歴史博物館) 見学

ITの最先端シリコンバレーの中心に位置するこの地の歴 史を刻む最先端企業各社の当時の開発品を展示している博物 館も訪問した。

日本のものでは、「そろばん」「電卓」が展示されていた。 計算機からNetwork、webへと徐々に現代に馴染んだもの に変わっていく様を回廊のように巡り、変遷を見て回った。

計算機からコンピュータというものばかりではなく、音楽、映像、ロボット、ゲーム等あらゆるデジタル分野の誕生、開発が展示されていた。

当然のことながら、開発初期は大型であり次第に小型化し手のひらサイズという道のりになっていく。そこには現代の通信(Netwark、web)が付帯し手のひらで世界中のあらゆる情報が入手できるようになった。それら展示品を撮影、アップロードしている自分のてのひらの中の端末が現在の最終形である事を認識した。





#### 番外編

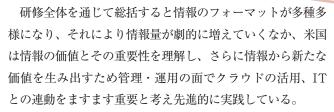
#### Hewlett-Packard 社 創業の地見学

パロアルト市役所を見学後、先日新聞広告でも紹介されていたHP社創業の地であるガレージがすぐ近くにあることを弊社参加メンバーが覚えており急遽、時間をいただき見学に行くことになった。パロアルトの高級住宅街の一角に奥まって存在する風情あるガレージ。世界で一番有名なガレージを見学できた。





#### 所感



そこでは情報に対する価値感の差か、また必要性からか日本の企業や自治体の取り組みと大きな差があることを実感した。

しかし情報加工サービスを提供する私たちが技術を含めそれらを理解し実践しながらユーザーに向けて、情報の新たな価値を提供することができれば、新たな需要を喚起しサービス機会を創出することが可能だと思える。この可能性を信じて日々の営業活動に取り組んでいきたい。

今回の研修では多くの情報と知識を得られ本当に有意義で また刺激的で充実したものになった。

視察研修を企画いただいたJIIMAと気持ちよく参加させてもらった社長と同僚に感謝したい。

#### 契約書などの企業文書資産の電子化に

#### 重要文書出張電子化サービス

### VitalDSS

「重要文書出張電子化サービス VitaIDSS」は、契約書などの企業の重要文書資産を電子化して分散保管を可能にし、 BCP 対策、リスクマネジメントを行うサービスです。

●VitaIDSSの電子化サービスレベル

カラースキャン

文書情報管理士による電子化監督

目視確認後の電子署名

PAdES によるタイムスタンプ付与

#### ●手間いらず、リスクいらず

出張電子化、フルサービス

#### ●もっとも真正性の確保できる電子化

e-文書法要件レベルの仕様、カラースキャン、PAdES

#### ●もっとも安全な電子化

デジタルID暗号化PDFを提供、PCに証明書必要

#### ●すぐ実施できる価格

料金が明確でページ数、ファイル数だけで予算化可能







### **● HYPER GEAR APIX** 株式会社アピックス

詳細はココを クリック VitalDSS 検索





お問い合わせは vdss@apix.co.jp IS 612404

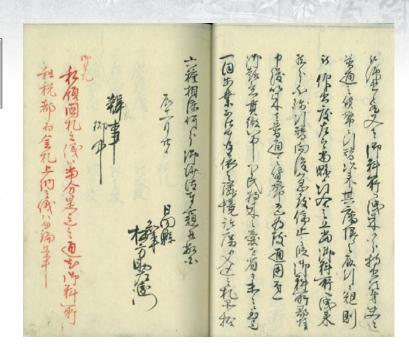
※VitalDSSは、株式会社アビックスと株式会社ハイバーギアの2社の技術により 実現しています。

16 月刊 IM 2016-1月号

### 大分県公文書館所蔵 大政官同書類 (明治元年)

日田県(大分県と福岡県東部)は、慶応4年(1868) 閏4月25日に設置され、初代県知事には、「松方デフレ」で有名な松方正義(助左衛門)が任命されました。明治4年(1871)の11月14日に大分県の一部となり、短期間の行政機関となったため、その公文書はあまり残っていません。

当館が所蔵する明治期以降の公文書の中で最も古いものであるこの資料には、日田県が太政官(明治政府)に立てた様々な伺いが綴じられています。その中の一つに、松方の日田県における貨幣政策を知ることができる文書があります。



松方は、明治政府の政策である太政官礼への貨幣の統一の必要性を感じてはいるが、日田で隣境諸藩の藩札が多く流通している現状を鑑み、藩札の使用の制限や租税取立時に太政官札のみとなると、農民たちが当惑困窮してしまうと心配しています。 そこで、年限を立て、農民たちを諭しながら徐々に太政官札への引替を行うべきではないかと提案をしています。太政官からは、藩札の使用は当分の間これまで通りとし、租税はすべて太政官札による上納と回答がありました。

なお、この他にも資料には、殿様の宿願であった金山の再興など、興味深い内容がいろいろ記載されています。当館が運営するFacebook(https://www.facebook.com/oitakenkoubunshokan)でも資料の紹介を行っていますので、是非ご覧ください。

#### 大分県公文書館



http://www.pref.oita.jp/site/346/

〒870-0008 大分県大分市王子西町14番1号 TEL. 097-546-8840 FAX. 097-546-8849

#### ◆ わが館の特長

大分県公文書館は、県立図書館、先哲史料館とともに、大分県の文化に関する情報発信基地を目指す三館複合施設「豊の国情報ライブラリー」として、平成7年2月28日に開館しました。

明治期以降の公文書を中心に、地域資料(古文書等)、行政刊行物、 地図や写真等、さまざまな資料を収蔵しています。さらに、平成25年度 からは電子公文書の収集も始めています。

また、複合施設の利点を活かし、三館で連携した企画展示やレファレンス対応、所蔵資料のすみわけ等を行い、県民に対するサービスを展開しています。

#### ◆ 所蔵品

紙文書関連	約84,000点	写真・スライド	約33,000点
マイクロフィルム	約1,270点		
その他	複製本 約4,000	点、その他地域資料	等 約6,000点

■お宝文書投稿募集中!! 所蔵する貴重な文書・特長ある文書を貴館のご紹介と共に掲載します。ご連絡は編集部まで。

### 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.2版」 運用のための解説書概要

### 診療録等をスキャナ等により電子化して 保存する場合について

新市場開拓委員会 医療WG

JIIMA新市場開拓委員会医療WGでは、平成25年10月にリリースされた厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.2版」の「9章 診療録等をスキャナ等により電子化して保存する場合について」にフォーカスし、医療機関・医療従事者がより効果的で着実に「紙等の媒体で作成された医療情報を活用・保存すること」ができるガイドラインの解説書を作成しました。解説書はホームページ等に掲載予定ですが、それに先立ちその概要を紹介します。なお、実際に運用するにあたっては、厚生労働省のガイドライン全般を参考にして電子化作業を進める必要があることにご留意ください。

#### 厚生労働省ガイドライン4.2版

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」」は厚生労働省が平成17年に刊行し、以来6回の改訂を経て、医療情報システムの安全管理に関する指針として活用されてきました。最新の4.2版では「対象となる文書」「情報の相互運用と標準化」「情報の安全管理」「外部に記録を保存する際の基準」などが変更されました。その中でとりわけJIIMAとして普及促進が必要だと考えているのは、9章の「診療録等をスキャナ等により電子化して保存する場合について」になります。9章には以下の項目があります。

- 共通の要件
- 診療等の都度スキャナ等で電子化して保存する場合
- 過去に蓄積された紙媒体等をスキャナ等で電子化保存する場合
- 調剤済み処方箋をスキャナ等で電子化し保存する場合に ついて
- (補足)運用の利便性のためにスキャナ等で電子化を行うが、紙等の媒体もそのまま保存を行う場合

#### 共通の要件

9章では、電子カルテなどで、診療の大部分が電子化して 運用されている状況でスキャナ等による電子化を行う時、 (1) 他院からの診療情報提供書等の紙やフィルムが混在し てスキャンが生じる場合と (2) 過去の診療録等が紙やフィ ルムで残り、一貫した運用ができない場合が考えられると想 定しています。また電子化はするものの、紙は残しておくと いう想定もされています。ここではこれらのケースに共通する要件が述べられています。具体的には

- 1) スキャンによる情報量の低下を防ぎ必要な情報量を確保
- 2) 光学解像度、センサ等の一定の規格・基準を満たすスキャナを用いる
- 3) スキャン等を行う前に対象書類に他の書類が重なって貼り 付けられていたり、スキャンによって情報の欠落が発生しな いこと

画像情報は、汎用性が高く可視化するソフトウェアに困らない形式(放射線フィルム等の医用画像をスキャンした情報はDICOM等の適切な形式)で保存するよう規定しています。放射線フィルム等の高精細な情報に関しては日本医学放射線学会「デジタル画像の取り扱いに関するガイドライン2.0版(平成18年4月)<sup>2</sup>」を参照するよう案内されています。

これら「診療の用途に差し支えない精度」の基準については、対象毎にあらかじめ診断等の診療目的の利用に十分な精度を満たしていることを確認した上で、運用管理規程等で定めてください。運用管理規程に定める項目は表1を参照してください。

また改ざん防止については、スキャンされた情報をチェックする「情報作成管理者」を置くことや、電子署名・タイムスタンプ等で責任の所在を明らかにするよう義務づけられています。

<sup>1</sup> 厚生労働省 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000026088.html

<sup>2</sup> 社団法人日本医学放射線学会 デジタル画像取り扱いガイドライン http://www.radiology.jp/member\_info/guideline/20060402.html

#### 表1 運用管理規程に定める項目

#### (1) 一般管理事項

- ①総則
- ②管理体制
- ③管理者及び利用者の責務
- 4運用管理事項
- ⑤業務委託(システム・運用・保守・改善)安全管理措置
- ⑥情報、情報機器の持ち出し
- (7)外部医療機関との医療情報提供・委託・交換
- ⑧災害等非常時対応
- ⑨教育、訓練
- ⑩監査
- (2) 電子保存の為の運用管理事項
  - ①真正性 ②見読性 ③保存性 ④相互運用性
- (3) ネットワークによる外部保存に当たっての医療機関の管 理事項
  - ①管理体制と責任
  - ②外部保存契約終了時処理
  - ③真正性
  - ④見読性
  - 5保存性
  - ⑥個人情報保護、患者への説明
- (4) スキャナ等により電子化して保存する場合

※詳細はガイドライン第10章「運用管理について」を参照のこと

#### 診療等の都度スキャナ等で電子化して保存する場合

他院からの診療情報提供書等の紙やフィルムといった媒体 が混在することで、医療安全上の問題が生じるおそれがある

場合を想定して、ガイドラインではさらに以下を加えています。 「9.1 (共通の要件) の対策に加えて、改ざんを防止するた め情報が作成されてから、または情報を入手してから一定期 間以内にスキャンを行うこと |

一定期間とは改ざんの動機が生じないと考えられる1~2 日程度を指しています。

#### 過去に蓄積された紙媒体等をスキャナ等で 電子化保存する場合

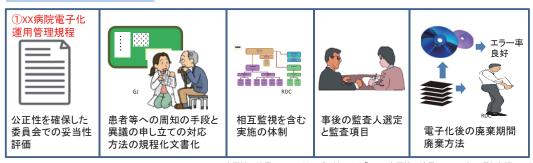
前項の「入手した都度スキャンをする場合」とは異なり、 過去分については改ざん動機の生じる可能性が低いと想定さ れています。むしろこれらは「説明責任を果たすために相応 の対策をとることが求められる」ことが重視され、図1に示 すように「患者等の事前の同意を得、厳格な監査を実施する こと」が規定されています。もし異議申し立てがあった場合 は「スキャナ等で電子化を行わないこと」です。必ず実施計 画書を作成し、以下の項目を盛り込んでください。

- 1) 作業責任者の特定
- 2) 患者等への周知の手段と異議の申し立てに対する対応
- 3) 相互監視を含む実施の体制
- 4) 実施記録の作成と記録項目
- 5) 事後の監査人の選定と監査項目

#### 【電子化を行うにあたって】



#### 実施計画書の重要項目



真正性の確保については、ガイドライン「7.1 真正性の確保について」の項を参照のこと

図1 過去に蓄積された紙媒体等をスキャナ等で電子化保存する場合の措置例

#### 【対策】 運用管理規定を策定して適切に対応することが重要

(案1) スキャン後の紙の処方箋も一定期間保存しておき、修正が発生した時点で電子記録を破棄し、修正した紙媒体で再度電子化する



(案2) 紙の処方箋を事後修正が生じる可能性が十分に低くなるまで保管した後に電子化する

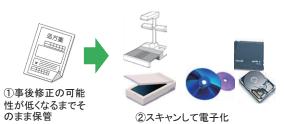


図2 電子化した調剤済み処方箋を修正する場合の対策

6) スキャン等で電子化を行ってから紙やフィルムの破棄まで の期間、及び破棄の方法

また外部委託する際の注意点としては、「プライバシーマーク」を取得し、「安全管理や個人情報保護上の問題を起こしていない事業者」であること、また監査として「ISACA<sup>3</sup>などの認定された適切な能力を持つ外部監査人によること」と言及されています。

電子化媒体の一例として、ブルーレイディスク(BD)による保存については、JIIMAで策定した「電子化文書長期保存のためのBlu-ray Disc™検査基準及び取扱いに関するガイドライン第1.0版⁴」が参考になります。BDの記録後のエラーレートを測定検査することによって、その記録品質が担保されるかどうかがわかります。なお長期保存用光ディスクを用いて保存する場合は、JIIMAの「長期保存用光ディスクを用いたアーカイブガイドライン⁵」が参考になります。

#### 調剤済み処方箋をスキャナ等で電子化し 保存する場合について

現在、処方箋の電子的発行は認められていません。そのため、調剤済み処方箋の電子化については、必然的に紙の処方箋に記名押印または署名を行い「調剤済み」としたものを電子化することになります。電子化できるのは「調剤済み処方箋」のみとなります。ガイドライン「9.1共通の要件」に加え、

- 3 情報セキュリティ、ITガバナンス、リスク管理等、情報通信技術の専門団体。
- 4 JIIMA電子化文書長期保存のためのBlu-ray Disc™検査基準及び取扱いに関するガイドライン http://www.jiima.or.jp/pdf/7\_JIIMA\_guideline.pdf
- 5 長期保存用に設計され出荷時に欠陥管理等により選別された高品位な光ディスクを指す。
- 6 JIIMA 長期保存用光ディスクを用いたアーカイブガイドライン http://www.jiima.or.jp/pdf/Opticaldisk\_acive\_guideline201310.pdf

以下を実施する必要があります。

- 1) 調剤済み処方箋の電子化のタイミングにより、「9.2 診療等の都度スキャナ等で電子化して保存する場合」または「9.3過去に蓄積された紙媒体等をスキャナ等で電子化保存する場合」の対策を実施すること
- 2) 電子化した調剤済み処方箋を修正する場合、「修正後の 電子化した調剤済み処方箋」に対して薬剤師の電子署名 が必須である(元の電子署名が検証できること)図2参照

### (補足) 運用の利便性のためにスキャナ等で電子化を行うが、紙等の媒体もそのまま保存を行う場合

紙での保存も継続しながらスキャナ等で電子化する場合について述べられています。「9.1共通の要件」同様、情報量の低下を防ぐ光学解像度、センサー等の一定の規格・基準を満たすスキャナを用いることとされています。日常の診療等の用途に差し支えない精度でスキャンすることが必要です。また紙特有の問題として

- 1) 緊急に閲覧が必要になったときに迅速に対応できるよう、 保存している紙媒体等の検索性も必要に応じて維持する
- 2) 電子化後の元の紙媒体やフィルムの安全管理を行うこと も大切です。要点は表2のとおりです。

#### 最後に

紙媒体等の医療情報を電子化することは、1)検索性の向上 2)保存スペースの確保 3)紙と電子媒体の二重管理を避けられ効率化が図られるなど、医療機関・患者双方にメリットがあります。本解説書が実際の運用において活用されることを切望いたします。

#### 表2 紙媒体を保存しながら電子化もする場合の要点

スキャナの選び方	医療に関する業務等に支障が生じることのないよう、スキャンによる情報量の低下を防ぐため、光学解像度、センサー等の 一定の規格・基準を満たすスキャナを用いること。
診療情報提供書等の紙媒体の スキャン方法	紙媒体が別途保存されるものの、電子化情報に比べてアクセスの容易さは低下することは避けられず、場合によっては外部に保存されるかもしれない。従って、運用の利便性のためとは言え、電子化情報はもとの文書等の見読性を可能な限り保つことが求められる。ただし、もともとプリンター等で印字された情報等、スキャン精度をある程度落としても見読性が低下しない場合は、診療に差し支えない見読性が保たれることを前提にスキャン精度を下げることもできる。
心電図等の波形情報の スキャン方法	心電図などの長尺物は機械的にカットするのではなく、診療に必要な部分がカットされないような工夫が必要。
放射線フィルム等の高精細な 情報のスキャン方法	日本医学放射線学会電子情報委員会が「デジタル画像の取り扱いに関するガイドライン2.0版(平成18年4月)」を公表しており、参考にされたい。なお、このガイドラインではマンモグラフィーは対象とされていないが、同委員会で検討される予定である。放射線フィルム等の医用画像情報をスキャンした情報はDICOM等の適切な形式で保存すること。
デジタル画像の取り扱いに 関するガイドライン	社団法人日本医学放射線学会のホームページを参照のこと。 http://www.radiology.jp/member_info/guideline/20060402.html 例えば、一般的なレントゲンフィルムを事務用のスキャンで処理することはできない。
一般の書類のスキャン方法	汎用性が高く可視化するソフトウェアに困らない形式で保存すること。また非可逆的な圧縮は画像の精度を低下させるために、非可逆圧縮を行う場合は医療に関する業務等に支障がない精度であること及びスキャンの対象となった紙等の破損や 汚れ等の状況も判定可能な範囲であることを念頭に行う必要がある。
スキャン運用管理	管理者は、運用管理規程を定めて、スキャナによる読み取り作業が、適正な手続で確実に実施される措置を講じること。 見読性の合意をとり、一定の規格・基準の具体的内容が必要。電子化後の元の紙媒体やフィルムの安全管理を行うこと。 スキャンしたい文書は千差万別。医療機関と事前の打ち合わせと合意事項を運用マニュアルに追加することが必要。
運用管理規程の事例	・有識者(放射線技師など)に立ち会ってもらい、スキャン精度を下げる確認をし、その旨を書面で残す。 ・病院全体でワーキングを開く方法も実施されている。 ・ガイドライン第 4.2 版に関するQ&A -57 の記載を参考にする。 ・その他の病院の事例も参考にする。

#### JIIMAより ご案内とお知らせ

#### 「渉外委員会」委員公募の件

JIIMAでは、事業基盤強化系委員会として新たに「渉外委員会」をスタートすることとなりました。

渉外委員会は、JIIMA新会員の勧誘を組織的に実施し、協会の基盤を強化する活動を行います。月1回の委員会に参加して 勧誘先の検討や分担を行うほか、JIIMA最新情報を共有して頂きます。「JIIMA渉外委員」として、文書管理ソフト会社や JIIMAセミナー参加企業を訪問して頂くことで、業界動向の把握や人脈拡大に繋がります。ぜひ委員としてご参加ください。

※委員会に参加頂ける方は、JIIMA会員に限ります。

連絡先 JIIMA専務理事 長濱和彰 nagahama@jiima.or.jp

#### **税務関係書類のスキャナ保存 規制緩和に関連した寄附のお願い**

2016年1月1日から、受領又は自社で発行した税務書類のスキャナ保存要件が大幅に規制緩和されます。また次の税制改正 ではスマホなどのモバイル端末による税務書類記録も容認される見込みです。JIIMAではこれら新たな要件に関わる詳細内容 や社内規程、運用ガイドライン等の普及啓発に注力する他、税務書類スキャナ保存要件に合致した文書管理ソフトの認証審査 も開始する予定です。こうした活動にご賛同いただける皆様方より、JIIMAでは、寄附によるご支援を切にお願いいたします。 ※寄附は、個人の場合、確定申告によって所得控除が申請できます。また法人の場合は、公益法人に対する寄附に適用される別枠の損金算入をご利用いただくこ とができます。

詳しくはJIIMAホームページの「寄付について」をご参考ください。

http://www.jiima.or.jp/pdf/jiima\_kifunitsuite.pdf

#### 受付開始のお知らせ 大好評の資格認定セミナー・検定試験

○文書情報マネージャー資格認定セミナー 2月5日~6日に開催いたします。

http://www.jiima.jp/contents/bun\_mng/post\_53/

○新資格「e-文書++認定」セミナー 2月5日(金) 10時から開催いたします。

http://www.jiima.or.jp/pdf/20160205eplusplus.pdf

○文書情報管理士検定試験

http://www.jiima.or.jp/bunkan/buntest\_07\_index.html

12月20日(日)~2月10日(水)まで。 全国主要都市からコンピュータ受験ができます。また上級受験資格を大幅に改訂しました。

#### 日本イメージ情報業連合会 第39回総会仙台大会

### 復興に期待を寄せて

日本イメージ情報業連合会 理 五十畑 嘉

第39回日本イメージ情報業連合会総会仙台大会が平成27年10月22日(木)、 「アークホテル仙台青葉通り」(仙台市)を会場に盛大に開催された。参加者は約90名。

#### 冒頭挨拶

開会に先立ち、先の東日本大震災の犠牲者に対して出席者 全員で黙祷を捧げた。

東北イメージ情報業協会の鈴木庄壽理事長の開会挨拶に続 き、日本イメージ情報業連合会 (ISU) の井上信男会長が挨拶。 「困難な状況下にもかかわらず、東北支部の皆様からの『大 会をぜひ東北で開催し、全国の皆様に復興途上の姿をみても らいたい』という申し出をうけ、ISU役員の賛同も得られた ので仙台を会場に選んだ」としたうえで、「しかしながら、 会員数の減少にともなう各支部の負担増を考慮すると、ISU 総会の地方開催は困難といわざるをえず、今後は東京での開 催が通例になるのではないか」と続けた。また、「JIIMAに よる政策要望活動が実を結び、商業帳簿の電子保存に関する 規制緩和や、ISO11506のJIS化など大きな進展がみられたの はISU会員企業にとってのビジネスチャンスでもあり、我々 自身にもこれまで以上に柔軟な発想が求められる」としたう えで、「ISU会員企業は全国に109社、まだ3ケタの数値を確 保している。他社との協業や、他の業界・団体との情報交換 が、ますます重要になる」と訴えた。





挨拶する鈴木会長(左)と井上会長(右)

#### 来賓挨拶

米国出張中の理事長に代わ り来賓として挨拶した日本文書情 報マネジメント協会(JIIMA)の 長濱和彰専務理事は、「JIIMA の活動で顕著な成果をあげた 2つの事例を報告したい」と 述べ、道路や橋梁などについ て5年ごとの定期点検を義務 JIIMA活動を報告する長濱専務理事 付けた道路法の改正に触れ、



「本年度末までに地方自治体でインフラ情報管理システムの 導入業務が本格化するだろう」との見解を示した。また長い 期間にわたりJIIMAが取り組み実現した電子帳簿保存法の 改正については、「企業規模や業種を問わず、支店単位や工 場単位で電子化した帳票類の保存を認める画期的な制度がス タートする。この普及活動を推進し国税業務の効率化に寄与 するとともに、ISU会員の新ビジネス創出に繋がるよう IIIMAも支援したい と意気込みを語った。

続けて日本複写産業協同組 合連合会の森下修至会長は、 「10年ほど前から、社会や仕 事のしかたが大きく変化して いる」と述べたうえで、「マ イクロフィルム需要が大きく 減少しているが、複写も同じ。 来年3月にはジアゾ感光紙の ビジネスチャンスを模索しよう!と 供給が終了し、90年にわたる



歴史が終わる。新しい需要であるプリントオンデマンドや電

子帳簿保存法がらみの需要をいかにビジネスチャンスとして 活かすか、ISUと力を合わせて進めていきたい」と挨拶した。

#### 各地区の報告

各地区からは報告要点は以下のとおり。

#### ≪北海道≫

会員数11社。北海道複写産業協同組合から改称された情 報創造事業協同組合と合同でセミナー開催。

#### ≪東北≫

会員数9社。本大会の準備のため、毎月打合せを実施。 記録メディアのエラーチェッカーを活用した電子化ビジネ スを推進している。

#### ≪関東≫

会員数36社。役員会は毎月開催。ほかに隔月で会員向け メールマガジンの発行と月刊IMへの広告掲載を実施中。 またKIUハンドブックを発行、会員はもちろん「eドキュ メントJAPAN」等の会場では会員以外にも配布している。 (本総会でも配布)

#### ≪東海≫

会員数7社。JIIMAから講師を招いて講演をおこなった。 また各会員企業で社長が交代し、若手経営者を中心に会の 運営を実施している。

#### ≪関西≫

会員数28社。理事会は年2回(4月、7月)実施。関西 地区で開催されるJIIMA主催セミナーに会員各社が参加。 そのほかに会員間の各種懇親会を開催。

#### ≪中四国≫

会員数8社。休眠状態が続いたが平成26年度に会の存続 を決定、平成27年度から現在の8社で再スタートした。

#### ≪九州≫

会員数10社。複写業とイメージ情報業の各団体に重複し て加入している会員企業が多いことから統一を前提とした 活動を進めており、本年2月には合同新年会、同5月には 合同で通常総会を開催した。

#### 記念講演

各地の報告に続いて、石巻市復興政策部次長 近藤順一氏 と臨済宗妙心寺派瑞鳳寺住職鎌田宗州氏による記念講演が あった。

近藤氏は「東日本大震災を経験して感じた保存文書の重要

性 |をテーマに、津波被害によって行政文書や各種資料を失っ た結果実感した「あるべき行政文書の保管体制」について説 明。とりわけ旧北上町の国土調査事業関連の文書の喪失は、 現在も業務に大きな支障をもたらしているという。こうした 経験から「行政文書のバックアップ対策は必須事項である」 と訴えた。(講演の詳細は次ページで)

「おかげさま」と題して講演 した鎌田住職は、多種の宗教 を受け入れる日本人の寛容性 にふれつつ「宗教とくに仏教 は、長い人生をどう生きるか を導くものである」と解説。 ともすれば自己中心的な風潮 が蔓延しつつある現代社会を



念頭に、「悲しい、嬉しい、苦しい、楽しいはすべて無常= つねにあらず、であり未来永劫に続くものではない。『あた りまえ』でなく『ありがとう』と、日々の生活に感謝の気持 ちを持つことが大切」と締めくくった。

#### 懇親会

渥美和彦大会実行委員長の開会挨拶につづき、西沢啓文仙 台市議会議員(前同議会議長)による来賓挨拶、賛助会員を 代表して牧野純一富士フイルム産業機材事業部統括マネー ジャーと岡本正行コニカミノルタビジネスソリューションズ 官公庁事業部事業部長による挨拶ののち、佐々木淳ムサシ第 一営業本部常務取締役本部長の乾杯発声で懇親会がスタート。 津軽三味線の迫力あるアトラクションを堪能しつつ、集う機 会の少ない遠方の参加者どうしで情報交換をする姿が多く見 られた。

宴たけなわの頃、今井肇キヤノンマーケティングジャパンオ



フィスデバイス企画本部本部長による中締めの挨拶があり、 続けて井上ISU会長が「次回の開催予定地は東京」とアナウンスした。その後、東北イメージ情報業協会の会員企業のメンバーが壇上に整列し参加者への御礼の挨拶を行うと、感謝と労いの気持ちを込めて参加者から盛大な拍手が贈られた。

#### むすび

総会に先立ち、大会実行委員会の計らいで希望者を対象とした被災地視察に参加し、名取市閖上地区を訪問した。そこには仙台市とはまるで違う風景があり、震災後4年以上が経過したにもかかわらず以前の生活を取り戻せていない人たちが多いと聞く。12人の犠牲者が出てしまった旧閖上中学校校舎の時計は、震災に見舞われた午後2時46分を指したまま止まっていた。この校舎も今月には取り壊されるという。記憶を風化させないために記録を残す。いまこそ私たちの技術が遺憾なく発揮されるべき時だと思う。

最後に、今回の総会に際して並ならぬ熱意と労力を注ぎ込まれてきた東北イメージ情報業協会の皆様に心から感謝し、 筆を置くこととしたい。







視察の一コマ 震災の悲惨さを 胸に刻む





石巻市復興政策部 でん どう じゅんいち 次長 近藤 順一

以下、石巻市近藤次長の行政文書の重要性について講演内 容を紹介する。

まずは、平成23年3月11日14時46分マグニチュード9、震度6強(石巻市)の日本中を震撼させた東日本大震災が発生した日から今日まで皆様には温かいご支援を頂いておりますことに対しまして、この場をお借りし、お礼を申し上げます。

この時の石巻市の被害状況をお話ししますと、亡くなった 方は約3千名、行方不明の方は約400名、全壊、半壊併せて約 3万3千棟に達しました。

本講演ではこの震災によって生じた「石巻市における保存 文書の流出状況」をテーマにお話ししたいと思います。石巻市 は本庁舎の他に雄勝総合支所、北上総合支所、牡鹿総合支所な ど6総合支所と4つの支所、1つの出張所があります。その他 の施設は旧本庁舎、3つの旧分庁などがあり、これらの施設内 に公文書が保存、活用されていました。



石巻市役所

石巻市は平成17年に 市町合併、石巻市役所 庁舎は平成22年にJR 石巻駅前に移転しまし た。地上6階建ての本 庁舎の1階にはスー パーマーケットが入居

していますので、2階以上のフロアで市の各課が市民サービスを行っています。1階部分は浸水被害がありましたが、文書保管庫は2階から6階の各課に配置されており、公文書の被害はありませんでした。しかし、6階では天井落下などの被害があり、危険な状況でした。

続けて北上総合支所の例をお話しします。地上2階建て(公民館を含む)の建物が全壊し、3階の高さの津波が襲いました。各課に文書保管庫を設置していましたが、永年文書を含むすべての文書が流出しました。特に土地調査関係の文書や北上町時代に実施した国土調査事業の文書を失ったために現在でも事業が止まっている案件があり、これらの文書の流出は大きな打撃です。このような文書はデジタル化によるバックアップが必要不可欠です。幸いにも戸籍や住民情報などの記録は市町合併したことで本庁にデータを保存していたために助かりました。今

#### = 記 念 講 演 か ら

### 東日本大震災を経験して感じた保存文書の重要性



石巻市被害概要



保存文書に対する今後の対応案(2)

○復旧作業を仮にボランティア実施

秘匿性が高い行政文書が法的正当性を必ずしも有しない一市民が作業の過程通じて閲覧できることを意味する。

○過去に多大なコストをかけて作成した測 量図面や建物の実測図などは復旧に莫大 な費用がかかることを留意

では仮設庁舎を置き、平常通り仕事をしています。このように、 紙による資料管理及びその復旧におけるさまざまな課題が散見 され、解決策の一つとして電子公文書管理の可能性が注目され ます。

一方、公文書などの復旧作業にボランティアの方々に協力 を頂きました。今考えると、作業中に個人情報を見てしまう、 公開してしまう危険性がありました。したがって協力頂く内容 を考慮しないといけません。また過去にコストをかけた測量図 面などを失った場合、その復旧にかかるコストは膨大です。失っ たものは回復できません。



石巻市街地の被災後の写真

保存文書に対する今後の対応案(3)

#### 保存文書のアーカイブファイル化の提案

・アーカイブ ― 将来残すために保存された記録物や文書類、 また、それらの保管設備・施設など。

失いたくないデー タを長期的に保管する為、専 用の保存領域や記録装置に移動させ、複数のファ イルから作成されたアーカイブファイルを名称や 容量、作成日などの情報を保持し、容易に一覧したり、特定のファイルの抽出を行うことが出来る。

保存文書に対する今後の対応案(4)

#### アーカイブファイル化する利点

○ 災害時に被害場所で文書の流出や データの破損等生じた場合でも、他 の保存サーバーから簡単にデータを 復旧させる事が出来る為、スムーズ に実務作業が出来ます。

そのため災害時対策としての保存文書のデジタル化は必要 で、それらを複数の個所に置くことも大事です。今回の震災で は個人の大切な手紙や写真などの思い出が流され、戻らなく たったケースが多くあります。それ以来、私も大事な写真をデ ジタルアーカイブ化しました。

宮城県では医療情報のクラウドを利用したカルテのデジタ ル化による取組みも始っております。県内の医療従事者などが 情報を活用できる仕組みです。皆様方には、将来の視点でデジ タル化による公文書の災害時対策を是非進めていただくようお 願いします。

#### 光ディスク運用の基準を策定

光メディアWGの発足は2010年頃、国 立国会図書館と日本記録メディア工業会 からブルーレイディスク (BD) に記録さ れた電子化データの長期保存に関する規 格や基準を作って欲しいという要請を受 けたことに始まります。それまでCD、 DVDにはISOやJIS等の規格がありまし たが、BDについてはなく、これではBD を使った標準運用ができないということ で長期保存の運用ガイドラインの検討に 着手したのです。当時は「BD標準化 WG」という組織で活動が始まりました。 大規模なデジタル文書情報を信頼高く、 効率的に長期保存し利用するニーズが国 立国会図書館などで高まったことも背景 としてあります。

光ディスクは B to C、主にコンシューマに利用されていたものが B to Bの様々なところで使われ、長期保存やバックアップを取るという目的でビジネスでの利用が広がっていきました。すると環境の変化や経年劣化によって読めなくなってしまうといった事例も出てきました。これらを踏まえ、大切な文書情報・デジタル情報を長期保存する仕組みづくりが必要だという社会的なニーズに応えるため、光ディスクに特化しJIIMAで組織されたのが光メディアWGです。

#### ガイドラインの策定と認証制度

この活動の成果として、2012年4月に「電子化文書長期保存のためのBlu-ray Disc™検査基準及び取扱いに関するガイドライン」、2013年10月には「長期保存用光ディスクを用いたアーカイブガイドライン」を発表しました。

前者は記録後のBDディスク検査値の 基準やディスクの取扱い、運用モデルな どが示され、JIIMAが主体となって改 正したJIS Z 6017: 2013にその内容が反 第3回 アーカイブ委員会 光メディアWG

### 安心・安全のアーカイブ用 光ディスク製品の普及を目指して

インタビュー 委員長 藤井 徹 委員 竹島秀治 谷口昭史

デジタル情報を永続的かつ安全に蓄積できるアーカイブ用光ディスクの普及を促進する光メディアWG。長期保存の手順を定めたガイドラインの策定や長期保存可能な媒体として認証の検討を行うなど活発な活動が続いている。さて最近の取り組みはどのようなものだろうか。



映されています。また後者には具体的な システム概要や実際に光ディスクが使わ れている事例・メリットなどが記されて います。

一方こうした活動を新たなステージに 進めるべく「認証審査委員会」が2013 年に立ち上がりました。文書管理に関わ るソフト・機器等をJIIMAで認証して いくという取り組みですが、その先駆け としてアーカイブ用光ディスク製品の認 証制度が始まりました。光メディアと記録装置を個別に認証するのではなくそれぞれの組み合わせで、長期保存可能な媒体として動作やデータの品質を保証しようとするものです。

光メディアWGの委員は認証審査委員会の分科会「光ディスク製品認証WG」にも参加しており、光メディアWGではメディアの普及促進を、製品認証WGでは認証に特化した活動ですみ分けています。

#### 光メディアWGの活動—ヒアリング進捗状況

済 予定

相手先	ヒアリング時期	①	2
医療情報学会	2015年9月30日 (eDoc内)		「医療情報システムの安全管理 に関するガイドライン」 講演
図書館協会	済	"ネットワーク資料保存 15年4月号"掲載済	講演(10月)MKM竹島
全史料協	10月6日寒川訪問	『記録と史料』記事執筆 (2016年3月発行)	全国大会で中之条町役場講演に盛り込む(11月)
企業史料協	済		講演(10/12) ふじわら坂田さん
日本建設業連合会	済	HP掲載依頼	7/28修正済みを確認
光産業技術振興協会	済	"オプトニューズ" Vol10掲載	セミナー(10月)誘電藤井
ISOM	済		10月講演
東京国立近代美術館 フィルムセンター	来年度を予定	「物理メディアの仕組みと 取扱い」のセミナー依頼有り	WG内で検討開始



多方面に働きかけている普及活動。活動の進捗(左)と掲載された論文(右)の数々

#### アーカイブ用光ディスクの さらなる普及を

ガイドラインや認証制度の仕組みが出 来上がった後、委員会では、さらなる普 及活動にシフトしています。

デジタルデータの長期保存の必要性、 光ディスクの利便性や特長をPRするた め、JIIMAセミナーでの普及講演はも ちろん、関連団体や自治体、MLA(博 物館・美術館、図書館、文書館)等での 講演や専門誌・業界誌への論文、記事の 執筆等を行っています。市場を把握する ために大学や大量のデータがありそうな 機関に文書の保管状況を調査したり、 JIIMAのガイドライン・認証制度の認知 状態を聞いています。これらはすべてWG からの積極的なアプローチで成し得てお り、2015年は長岡技術科学大学、医療 情報学会、光技術産業振興協会など、多 方面の技術領域に向け調査を行いました。





市販品と長期保存用、その差をユーザーに訴えていきます と藤井リーダー(左) と竹島(左)/谷口(右) 委員

また合わせて17件のセミナー発表・寄稿 を行いました。こうしたJIIMA認証キャ ラバンの活動は、毎月の委員会で進捗を 確認し、ターゲットを絞り、相手先と連 絡を密にして慎重に行っています。

市販品の光ディスクが納品され、長期 保存に不安があるケースが散見されるな か、官公庁などでの入札要件に安心・安 全な長期アーカイブ用光ディスクを採用 してもらいたいという主張は1年を通じ て常に行っています。

#### 光ディスクの将来性

一般的な動画記録を中心に光ディスク の利用は多いものの、データストレージ 市場を見ると規模としてはさほど大きな ものではありません。しかしネットワー クやイメージ、モビリティといった分野 でデータ量が増えていることもあって ボーンデジタルの市場は年率120%拡大 しています。例えばSNSを運営している 会社はお客様のデータを消すことがなく データ量は増える一方です。

こうしたニーズを捉えて、光ディスク を使ったさまざまなソリューションが多 数提案され始めました。長期保存という 視点で将来においても情報を再現するこ とができる状態を保てるオープンな技術 の発展やCD、DVD、BDのような標準



光ディスク関連情報はJIIMAホームページで

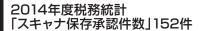
化された仕組みを維持することが重要だ と考えています。

#### 今後の活動について

長期保存の光ディスクのガイドライン、 認証制度についてはまだまだ充分に社会 に認知されたとは言えない状態です。利 用者の視点に立って、時としてソリュー ション提案も行いつつ、認知度を高めて いくことが今後も大きな活動のひとつで す。少ない事例を多くしていくこと、ま た必要に応じてJIIMAとしてガイドラ イン等で運用の仕組みや使い方等の手順 を提供していきたいと思っています。

#### **NEWS A LA CARTE**

ニュース・ア・ラ・カルト



国税庁はこのほど、電子帳簿保存法に 基づく電磁的記録による保存等の承認状 況をホームページ内で公表した。

発表によると、2014年(平成26年)度 スキャナ保存に係る申請件数は25件。 前年未処理の2件を合わせると27件と なり、うち21件が承認された(残り6件は未処理のため繰り越し)。却下件数 はゼロであったが、取りやめが2件あった。

これで承認された累計は、2013年(平成25年)度の133件から19件伸び、152件となった。この発表は規制緩和前の数字となるので本年度以降の承認件数増を期待したい。そんななか、領収書のスマホ撮影容認が現実的になってきたと11月19日付の日本経済新聞が報じた。政府・与党の審議を経て、12月まとめる税制大綱に盛り込む予定で、年度内の財務省令を改正し、2017年1月以降に受け取る領収書から規制を緩める方針だ。(スキャナ保存承認件数のこれまでの経緯はJIIMAホームページで)。

#### ビジネスアーカイブズの日 企業の情報発信力を問う

企業史料協議会(歌田勝弘会長)は11月5日(木)、4回目となるビジネスアーカイブズの日を記念してシンポジウムを開いた。

今回は、デジタル時代におけるビジネスアーカイブズと情報発信をテーマに「終戦と史料の行方」を波多野澄雄氏(アジア歴史資料センターセンター長)が、高野明彦氏(国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授、東京大学大学院情報理工学系研究科教授)はビジネスアーカイブズの情報発信の重要性を講演された。

企業のアーカイブズは課題として、社 史編さんをしたら終わってしまう傾向が あることや景気の変動に企業意識が左右 されてしまうことなどがある。継続的に 行うには自社のみならず、社外において も役に立つこと、目的をはっきりさせる ことが重要だと話し合われた。 一方11月18日の日経産業新聞では「社史が会社を強くする」として、失敗談・回顧録で生きた参考書として作成する例が増えたと紹介した。社員が仕事の参考にできる、スマホなどで読めるなど未来型へ変化もしてきているという。

#### 図書館・関連業界をつなぐ 17回図書館総合展開催

図書館関連で国内最大のイベント、図書館総合展が横浜パシフィコで開催された。 約140展示、約90講演が11月8日~12日まで繰り広げられた。

展示は図書館の設備提供や蔵書の取扱い、人材教育、学びの場としてのネットワーク拡張などがテーマとして並んだ。またフォーラムでは、一時の電子書籍・電子出版といったブームが過ぎたようで、公共施設として図書館の役割や将来像を考える向きが多かった。JIIMA会員企業も数社出展しており、図書館での蔵書管理をマイクロフィルム、デジタルアーカイブで保存と利用を促す展示・講演をされた。

#### 情報活用とイノベーション ウイングアークフォーラム開催

ウイングアーク1st 株式会社(会員No.1016、代表取締役社長・内野弘幸氏)はニッポン最大級の帳票&BIカンファレンス [WingArcForum2015] を開催した。

10月の福岡を皮切りに名古屋・大阪・東京で展開、今年はSVF販売20周年記念特別企画として、札幌、仙台、長野、金沢、広島、松山を加え12月4日(金)まで全国10都市で開催する。

東京では11月5日(木)、帳票管理や BIソリューションを訴求する展示とシア ター(講演)が繰り広げられ、12社が



展示、データ解析や見える化を高速・安全に処理・拡張するソリューションが紹介された。メインシアターとして14の講演も行われた。グローバルな情報活用のあり方をシスココンサルティングサービス、データビークル、セールスフォース・ドットコム、日本マイクロソフトース・ドットコム、日本マイクロソフトーの展望する基調講演や、福井県鯖江市のオープンデータ利活用の仕掛人、株式会社jig.jpとITで旅館業界にイノベーションを起こした株式会社陣屋による、データ活用イノベーションのスペシャルトークも展開された。

#### 電子帳簿保存法 申請事例も続々? 各所で改正セミナー

電子帳簿保存法施行規則改正をテーマにJIIMA会員企業・関係団体らによる 関連セミナーが続々開催されている。

10月26日(月)は、(一財)日本データ通信協会タイムビジネス協議会が改正内容に則ったタイムスタンプ要件を解説、ハイバーギアも同じくタイムスタンプをテーマに11月19日(木)に開催した。日鉄日立システムエンジニアリングは電子契約と絡めたセミナーを、ウイングアーク1stは、11月26日(木)自社の取り組みを解説した。

改正された要件でスキャナ保存を顧客に提案することはもちろん、自社での取り組みを公表する例もあり、申請を予定する企業が出始めている。



日鉄日立エンジニアリングのセミナー

### 米国と中国 サイバーセキュリティ協力の強化に合意

9月後半の中国の習近平国家主席の 米国への国賓訪問で、両国は経済サイバースパイの中止を促進する2国間協定 に署名した。この協定では、米国と中国

### **NEWS A LA CARTE**

政府は知的財産、営業秘密、またはその 他秘密のビジネス情報を民間企業の競合 優位のためサイバー盗難活動を行ったり、 支援しないことを謳っており、両国はそ れに合意した。

Washington Policy Briefの要約・本編はARMA International東京支部のホームページで。

#### 電子カルテ、クラウド保存 が可能になる?

韓国では、政府がクラウド産業を育成 するための施策の一つとして、医療機関 の電子医療記録をクラウドコンピュー ティングに保管・管理する法案を積極的 に推進すると報告した。

現在の医療情報は医療法関連規程に よりネットワークに接続されていない バックアップ保存システム、すなわち病 院内部だけに保管するようにとされてい る。これを変えて、病院外部でも保管で きるようにするもの。

これに対して医療界と市民団体は個 人情報流出の危険性を危惧、遠隔医療な どの医療産業化のための規制緩和意図が 濃厚だとして反対しており、今後これを 囲んだ論議が起こるものと見られる。

未来創造科学部と行政自治部や政府 の推進委員会らが立てた「K-ICTクラウ ドコンピューティング活性化計画」では、 クラウド親和的制度改善のために医療、 教育など各種法令でクラウド利用を事実 上制限する規制を、去る10月発足した 「民間クラウド規制改善推進団」を中心 に集中発掘して、来年から次々と改善し ていく予定だ。保健医療団体連合は、医 療情報を率先して保護しなければならな い政府がかえってこれを緩和しようとす る核心的理由は、医療機器および通信企

業の利潤のために推進されていると指摘 (韓国DCAニュースより) した。

JIIMAに寄せられた情報にて構成 スペースの関係上、記載の省略あり 各社ニュース

#### 人事のお知らせ(敬称略)

太陽誘電株式会社(会員No.961)

代表取締役会長 綿貫英治 代表取締役社長 登坂正一

#### 移転のお知らせ

株式会社ムサシ・エービーシー(会員No.554) 11月24日より本社事務所を下記に移 転した。

**T104-0041** 

東京都中央区新富1-9-1 新富191 3階 電 話 03-6228-4810 F A X 03-3555-6039



#### イメージングソリューション

歴史的に貴重な材料をはじめ、行政、企業、学術機関の重要文書・技術資料など、形態によって最適なデジタル化をご提案致します。また、長期保存が必要な資料に対しては、マイクロフィルム化にも対応しています。

#### 情報システム開発

デジタルデータ化することで最適な状態にし、 それらの必要な画像情報をスムーズに検索や閲 覧できるデータベースの構築をサポートします。

#### BPO

ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)は、企業の基幹業務を支える他部門を外部委託して、本業の基幹業務を集中強化しようというビジネスの形態です。中でも、文書情報管理部門のスペシャリストへの委託は、正確で合理的な運用を可能とします。

#### 株式会社 インフォマージュ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 2-18-1 TEL:03-5546-0601 FAX:03-5546-0610 E-mail:mail@infomage.jp http://www.infomage.jp

ISO9001:2008 認証取得 ISO/IEC270001:2005 認証取得



### 等身大の人間像の方が面白い

日本人が活躍するのは嬉しいものである。先のラグビー・ワールドカップなどは、日本代表チームが3勝をあげ、その中には、最強3チームの一つ、南アフリカも入っていた。だが代表チームには、外国人が10人いて、半分だけが帰化している。日本人による日本礼賛が多い中、そのことをかえって、喜ばしく思う。

サッカーのワールドカップで、日本戦の終了後、日本の観客らが、スタンドのゴミを片付けていたと、海外のメディアが称賛していた。しかし褒めてくれる人ばかりではない。版画で高名な絹谷幸二氏がイタリア留学中に、海岸で潮干狩りをしたら「それは漁師の仕事ではないか」と言われ、アトリエを掃除したらまた「清掃員の仕事じゃないか」と言われたそうだ。人の仕事を奪っているというわけである。だから、サッカーで掃除をしていた日本人が、本当に褒められるべきかどうかはわからない。

中国発のネットに、日本のすごいことを紹介するものがあって、駅やデパートのトイレが綺麗で、道などはゴミが落ちていないと絶賛している。確かに東京のターミナル駅は、たいてい綺麗だ。

しかし、それ以外のところは、結構汚れているし、近郊の駅や街中の公衆トイレは汚いと言った方がいい。道路も、私が住んでいる国道沿いには、吸い殻、たばこの空き箱、菓子の袋、飲料水の缶などが落ちている。神社の脇であろうと同様だ。

特に私の住んでいるところは、民度が低いのか、最寄り駅でも電車を待っていると、列を守らない人が多い。油断していると後から来て、当たり前に横から割り込む人がいる。中年の人も若い人も、男女の別なくやる人はやるのだ。思い余って小学生か中学生に一度注意したことがある。それ以上の大人には、男女を問わず、恐くてできない。

市民がこれだから、サッカーJ1のフランチャイズチーム も、褒められたものではない。アジアカップの時にテレビを 見ていたのだが、あまりのファウルの多さに、途中でチャン ネルを変えてしまった。

見渡せば、ざっとこんなところだ。身近なところでも、褒められる日本人は少ない。サッカーのワールドカップで、ゴミを拾っていた人たちは、普段でもそうしていると思うが、そうではない日本人も、結構いると思っていると間違いないようだ。

最近、日本の偉人たちを取り上げようという空気が強いよ うである。偉人についても、さまざまな逸話がある。

たとえば江戸時代の二宮尊徳。倹約を勧め、財政の効率化、 産業振興を図った人である。昔の小学校では、薪を背に、歩 きながら本を読んでいる姿の銅像があった。

この人が、今の栃木の芳賀地方に赴任していたときがあった。芳賀では、「後家殺し」という異名がある。本当に殺したのではない、後家さんとすぐに懇ろになったという意味だ。私が最初に記者になった時に、宇都宮の支局で芳賀出身のデスクに教えてもらった。

ウソか真かは知らない。でも、芳賀では「みんなそう言っ とるんだ」と言っていた。「本当ですか」と驚いて聞くと「本 当だ、このごちゃっぺが」とやり返された。

野口英世は、苦労して医者になり、梅毒の原因であるスピロペータ―を発見した。その後アフリカに渡り、黄熱病の研究に取り組み、その黄熱病にかかり死んでしまう。その偉人が、若い頃に大金を借りて医学試験を受けるため上京し、合格するものの放蕩生活で下宿代も払えなくなっている。

石川啄木も、放蕩生活である。私は中学生のころ石川啄木が好きで、よく短歌を暗記していた。貧しくても家族とともにひっそりと生きている人という感じだったが、後年、よくカネの無心に行った金田一京助の子の春彦氏が、石川家にカネがなかったのは啄木の芸者遊びのせいだったと新聞に書いていた。

日露戦争で二人の息子を亡くしながら、旅順で敗軍のステッセル将軍を丁重にもてなし、欧米のメディアから絶賛された乃木希典も若い頃は芸者遊びをした。同じく日本海海戦の英雄の東郷平八郎は、昭和になって、海軍の艦隊派の首魁となった。太平洋戦争をひき起こした責任の一端があるとも言える。

偉人などとあがめずに、等身大の人を見ていたほうが、よほど面白い。偉人とあがめられて、あの世で苦笑している人もいるだろう。偉人でなくとも、ネットなどで、日本人が日本はすごいなどと書いてあるのを見ると、気持ち悪くなってしまうのである。

#### 茂谷 知己 (もたにともみ)

早稲田大商学部卒後、産経新聞東京本社に入社。政治部・経済部を経て法務次長、知的財産管理センター上級専門委員を務める。定年退職後は㈱WOW LIFEを設立。インターネットを利用した情報配信、新規ビジネスをサポートしている。http://wowlife.info/index.html

■新製品に掲載希望の方は、編集部宛送付ください。

#### カラーコピーやスキャンが可能な大判インクジェット複合機 imagePROGRAF iPF770 MFP

キヤノン(株) キヤノンマーケティングジャパン(株)

PCなしで大判のカラーコピーやスキャン が可能なインクジェット複合機。

- スキャナに原稿をセットしてパネルを操 作するだけで、PCを使わずに大判カラー コピーやスキャンが可能。建設・土木・ 設計の現場などでCAD図面や地図のコ ピー、手書きで修正した図面のデジタ ル化が簡単に行える。
- 操作パネルに表示されたアイコンを選 択するだけの簡単操作。画質、明るさ の補正も可能。
- 大判なので拡大コピーやポスター、掲示 物に最適。幅広いプリントニーズに対応。

- PCに接続すれば、ネットワーク上のフォ ルダにスキャンデータを保存できる。ま たUSBメモリーでの保存も可能。
- 小型 · 軽量のスキャナとプリンターを-体化したコンパクト設計。上位機種より も重量、高さともに約1/3に小型・軽量化。
- プリンター、スキャナともに給紙・排紙 などすべての作業が本体前面で可能な フルフロントオペレーション機構を採用。
- ・細線や文字を忠実に読み取り、大判コ ピーやポスターをくっきり、鮮やかに再現。
- ■価格(税別)

698,000円

■お問い合わせ先 お客様相談センター TEL 050-555-90063

http://cweb.canon.jp/imageprograf/index.html



#### 解像度600dpiのA0サイズ広幅複合機 DocuWide 9098 $\alpha$

製造・建設現場の出図管理に最適。従来

機の解像度を超えた高精細複合機。



#### ■特長

- AOサイズで高精細600×600dpiのフ ルカラースキャンが可能。蛍光マーカー を使用する作業工程でも使えるよう蛍 光色の読み取り精度を向上させ、より 原稿に近い画像でスキャンできる。
- ・コピー/プリントとも赤黒出力が可能。 また、赤黒2色のスキャンデータを生成・ 保存することもできる。
- ・図面や技術資料など多岐にわたる フォーマットデータを拠点別に一括で出 図指示できるソフトウェア「ArcEPS」 と連携すれば、多拠点にあるゼロック ス製の複合機への出力も可能。

- 富士ゼロックス㈱
- ・紙出力が不要な拠点には、電子配信指 示が可能な「WorkingFolder」で配信
- ICカード認証で情報漏えい防止、セキュ リティを保持できる。
- ■価格(税別)

14,800,000円

■お問合わせ先 お客様ご相談センター フリーダイヤル 0120-27-4100 http://www.fujixerox.co.jp/product/ engineering/docuwide 9098a/

### 企業財産である電子データを 安心・確実に長期保存する支援をします。

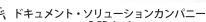
TiffやCADデータから直接35mm、16mmフィルムに変換し、OSに依存しない長期保存を保証します。











株式会社 横浜マイクロシステム 〒220-0061 横浜市西区久保町13-25 株式会社 横浜マイクロシステム TEL 045-242-0695 FAX 045-242-0624

詳しい事例は、弊社ホームページからご覧下さい。 http://www.ymsystem.com

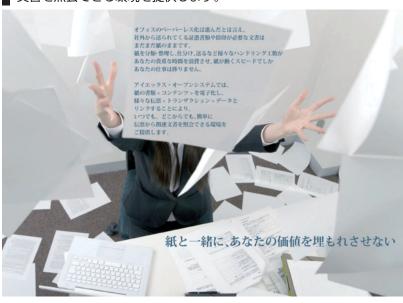
#### 新入会員企業紹介

会員 No. 1026

### アイエックス・オープンシステム株式会社

#### http://www.ixos.co.jp

紙の書類(コンテンツ)を電子化し、様々な伝票(トランザクション) データとリンクし、いつでも・どこからでも・簡単に、伝票から関連 文書を照会できる環境を提供します。



#### 高価なアーカイブ用プロダクトと同等の機能をご提供



e-文書法の規制緩和が行われ、ビジネス文書は紙から電子へと大きく流れが変わりました。この流れを多くの企業様

に波及させるためご尽力いただいている JIIMA様並びに会員様のお力をお借りしたといる

たく加入させて頂きました。

弊社では、SAPをお使いの企業様にも 電子化のメリットをお届けし、少しでも お役に立てるよう頑張って参りますので、 皆様よろしくお願い致します。

創業年月:2012年2月 資本金:300万円 従業員:2人 代表取締役:長岡純

〒 105-0012

東京都港区芝大門 2-5-1 アルテビル芝大門 5F TEL 03-3431-3633 FAX 020-4662-2538

アイエックス・オープンシステム株式会社は、100社以上のSAPユーザー様へのアーカイブ機能の実装を行ってきたメンバーが立ち上げたアーカイブ専門のベンチャー企業です。これまで培った豊富な知識・技術力と経験・ノウハウをベースに、SAPの標準機能を最大限活用した低価格の「アーカイブソリューション」を提供しております。

- ・高価なアーカイブ用プロダクトは不要なので、圧倒的なコストメリットがあります。
- ・通常のストレージ上にアーカイブデータを保管するので、シンプルな構成で運用できます。
- ・SAP標準だけでは実現できなかった、SAPのスプールに出力されるABAP帳票、帳票ツール等で作表されたPDF帳票、PC 上のOfficeファイル、紙をスキャンしたイメージファイルのアーカイブも可能です。
- ・もちろん、電子帳簿保存法の申請事例も多数ございます。

また、証憑を電子化したイメージファイルのアーカイブ機能をe-文書法の要件に合わせて拡張した「e-文書ソリューション」や、帳票や電子ファイルのアーカイブ機能を拡張した「電子契約連携ソリューション」など、SAPユーザー様の業務に直結したもっと簡単に・もっと便利で・もっと活用して頂けるシステムを提供して参ります。

#### ■主な取扱商品・サービス

イメージアーカイブ

・SAP ERPのアーカイブソリューション データアーカイブ ABAP帳票アーカイブ PDF帳票アーカイブ ファイルアーカイブ

・SAP ERPのe-文書ソリューション

・SAP ERPの電子契約連携ソリューション

データアーカイブ SAPのDB
 ABAP帳票アーカイブ SAPのスプール帳票
 PDF帳票アーカイブ 帳票ツールのPDF
 オファイルアーカイブ PCのOfficeファイル
 イメージアーカイブ 紙のスキャン・(PDF)

商品等のお問い合せは ―

長岡 TEL 03-3431-3633 E-MAIL: info@ixos.co.jp

#### 新入会員企業紹介

会員 No. 1028

### 東京レコードマネジメント株式会社

http://www.tepco-trm.co.jp/

#### 情報管理のワンストップサービス

情報管理サービスで経営課題をトータルにサポートします





JIIMA加入の 動機・期待・抱負

当社は東京電力(株)の原子力発電所の情 報管理を行う会社として発足し、その後、 様々な情報管理の経験を通じ、ノウハウを 培ってきました。4年前の震災の影響で事 業を縮小したこともあり、一時的に当会を 離れておりました。来年30期を迎えること もあり、業界の皆さまとの交流を持たせて いただくと共に、これまでに培ったノウハ ウによって、福島地域を含め、情報管理の 分野で少しでも貢献できればとの思いを抱 き、再度加入させていただきました。

創業年月:1987年9月 資 本 金:2,000万円 従 業 員:221人 代表取締役社長: 忍 義彦

〒 141-0031

東京都品川区西五反田 2-30-4 BR 五反田 2階 TEL 03-6372-0200 FAX 03-5719-5613

#### 情報管理のワンストップサービス

適切な情報管理を通じ、文書・記録・情報の「価値の最適 化」をご提案いたします。

- ○企業がビジネスコンプライアンスを推進し、その社会的責任を 果たすために、情報管理が極めて重要であると考えます。
- ○情報セキュリティに万全を期すとともに文書・記録・情報の真 正性、信頼性、完全性、利用性の確保(記録管理の国際 規格ISO15489の要求事項に準拠)を図り、文書・記録・情 報の作成、取得、流通、保管、保存、廃棄に至るライフサ イクルの全過程を総合的・体系的に管理するレコードマネジメ ントのベストソリューションをご提供いたします。
- ○適切な情報管理を通じ、不必要な記録・情報の増大抑制は もとより、情報共有による仕事の質の強化、情報の流れの簡 素化による生産性の向上ならびに仕事の処理コストの削減を 実現いたします。

商品等のお問い合せは -

営業推進グループ 山田 浩幸 TEL 03-6372-0236

E-MAIL: お問合せは弊社ホームページからお願いします。

#### ■主な取扱商品・サービス

- ・情報管理コンサルテーション
- ・文書・情報の初期整備導入支援
- ・情報管理システム構築
- ・文書の外部保存
- · 機密文書溶解処理
- ・文書・情報管理を維持するためのメンテナンス支援







#### 第55期 第7回 理事会報告

開催日時 平成27年 11月18日(水)16:00~17:20

開催場所 JIIMA大会議室

出席役員 高橋理事長、勝丸副理事長、栃木理事、桂林理事、 (敬称略) 河村理事、辻理事、石田理事、太田理事、望月理事、

野村理事、神田英彦氏(内藤理事代理)、

加納利徳氏 (中村理事代理)、長濱専務理事

出席監事 長井監事、小向監事

示を急ぎ行いたいとの提案趣旨説明が行われた。全員異議な く承認された。

#### 4) JIIMA会員入退会審査の件

(1)入会申請 なし

(2)退会報告 NDSデータソリューションズ株式会社 株式会社日立産業制御ソリューションズ

以上、全て異議なく承認された。

#### 1. 審議内容

OB

#### 1) 第55期 10月までの事業遂行概況について

議長より、「予算計画達成について、厳しい状況ではありますが、少しばかり見通しもつきつつある状況です」として、以下が報告された。

- ① e ドキュメントJAPAN2015関係では、フォーラムは概ね計画通り、ショウについては新たにオフィス多機能機メーカー2社から参加を頂いたが、若干の収支減。
- ②新規セミナー関係では、11月から「e-文書++」認定セミナーを開始した他、来年2~3月に追加規制緩和セミナーを企画して、予算収支を達成の目標。
- ③文書情報管理士検定試験関係では、2月受験はCBT化の第1回目の検定試験で予算通りとみているが、8月検定の補填までは難しく若干の収支減。
- ④文書情報マネージャー認定関係では、11月は34名、2 月認定セミナーで45名募集できれば通期で予算達成となるため、他協会との資格連携等、増員の可能性を探る。以上、現在の通期見込み概算は、事業収支マイナス見込みであるが、会費収入実績で予算を上回り、11月以降の新入会費や寄付金が獲得できれば、トータルで何とか収支予算が達成できる見込み。寄附の意向を示される会員もあるが、まずは役員各位の支援・協力を議長よりお願いした。

#### 2) 電子文書社会に向けた新ビジョンの検討開始について

議長より、第55期事業計画に従って、上期に主要委員会の委員長クラスを中心とする『電子文書社会に向けた課題研究会(EDSW)』で俯瞰的な課題の抽出とJIIMA対応案について予備検討した結果、一部検討未了部分を残しつつも『JIIMAビジョン2016について(答申案)Ver. 5.1』を受領した旨報告。これを受けて、理事会メンバーを中心とする『戦略会議』をスタートし『JIIMAビジョン2016』の検討を開始いたしたいとの提案趣旨説明が行われた。

#### 3) 「渉外委員会」委員募集と活動開始について

議長より、前回理事会で事業基盤強化系委員会として、 新たに勝丸副理事長を担当理事とする『渉外委員会』を設け、 新会員の勧誘を組織的に実施していくことが承認された件 について、全会員会社を対象に『渉外委員会』委員募集の告

#### 2. 理事会報告

- 1)第1回 「e-文書++」新資格認定セミナー(長濱専務理事) 第1回資格認定セミナーを11月12日に神田で開催した。 1か月弱の募集期間にもかかわらず文書情報管理士22名、 マネージャー10名、一般が14名、合計46名の申込があった。 第2回新資格認定セミナーは2/5(金)10:00~17:00 連合会館 会議室で開催すると報告された。
- 2) シリコンバレー最先端IT企業とシスコ電子化ユーザー・ サービスビューロー視察研修(高橋理事長・河村理事) 10月19日~24日、24名+JIIMA 2名+ABBYYの参加を 得て実施し、全員無事帰国したことが報告された。

Appll、Google、Facebook等の先端企業の環境に触れられたことで満足したという人が多かった。米国PFU、ABBYY、Adobeでは、社内会議室で米国のIM市場動向、技術動向を伺うことが出来た。

ユーザー見学では、レガシーのシステムをデジタルシステムに移行させ活躍しているサービスビューローや、98%ペーパーレスを進めた市役所を見学出来た。今後は参加者へのアンケートなども実施されたいと提案された。

- 3) eドキュメントJAPAN2015ショウ・フォーラム開催(辻理事)ショウは規模縮小したものの、フォーラムは21%も参加申込者が増加した。来年の実施については、ショウとフォーラムが不可分な関係であること、及び本年度の出展会社の来年度対応を把握し、代替案を含めて年内目標に総合的に判断したい。なお来年の開催は10月19日~21日と報告された。
- 4) スキャナ保存対応ソフト認証事業の検討状況(太田理事) 年内にソフト仕様書のチェックリストα版を完成させ、 法務委員会のチェックを受けて1月には完成させたい。

専務理事より補足「来年度の税制改正でスマホによる税 務書類の記録も許容される見込みであり、今後は認定対象ソ フトが大きく増える可能性がある」との発言があった。

- 5) 新年の賀詞交換会開催の件(長濱専務理事) 平成28年1月13日(水)18時受付、18時30分開始、如水 会館(竹橋)で実施する予定。
- 6) 次回通常総会・春セミナー(長濱専務理事) 平成28年5月26日(木)大手町ファーストスクエアーカ ンファレンスを予約したことが報告された。

### 月刊IM 2015 主要記事目録

	1月号	
【年頭所感】	公益社団法人日本文書情報マネジメント協会 高橋 通彦	n 1
【新春対談】		p.4
	公文書管理の展望 国立公文書館 加藤 丈夫 館長 JIIMA 高橋 通彦 理事長	p.6
【寄稿】	オープンデータで日本を元気に 日本ユニシス株式会社 三浦 仁	p.10
制度	アーカイブ用光ディスク製品認定制度始まる! 認証審査委員会 入江 満	p.14
【コラム】(7)	快適な入院生活 茂谷 知己	p.17
【連載】(2)	ビッグデータと文書情報管理 株式会社日本能率協会総合研究所 菊池 健司	p.20
【報告】	uーPaperless国際カンフェレンス2014 ECM委員会 石井 昭紀	p.24
【寄稿】(2)	文書管理に関する35年間の取組みと今後の課題 株式会社ファイリング技研 中西 勝彦	p.27
【アンケート】	eドキュメントフォーラム2014 アンケート報告 せミナー委員会 森 真人	p.32
	2月号	
【緊急発表!】	税務関係書類のスキャナ保存に大幅な規制緩和	p.4
【ケース・スタディ】	e-文書法(医療)に対応した治験関連文書の電子化を実現するクラウドシステム 日本医師会 若井修治	p.7
【公文書管理】(1)	歴史遺産と公文書の複合展示 地域資料のコンシェルジュをめざすふるさと府中歴史館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.11
【レポート】	ヨーロッパ文書管理調査 電子化が進むレコードマネジメント	p.15
【標準化】	日本レコードマネジメント株式会社 Jan Askhoej ISO国際会議 統合文書管理規格 規格化推進 エディタ会議 標準化委員会 伊藤 泰樹	p.18
【連載】(3)	「SO国际	p.16 p.21
【講評】	第6回 文書情報マネージャー認定セミナーを終えて 文書情報マネージャー認定委員会 内田 俊哉	p.21
【コラム】(8)	救急車を呼ぶべきか 茂谷 知己	p.24 p.28
【合格体験】	文書情報マネージャー認定者からのひと言	p.26
【マイクロ】	デジタルプリザベーションにおけるマイクロフィルムの役割	p.29
	コダック アラリス ジャパン株式会社 楢林 幸一	p0
	3月号	
【ケース・スタディ】	· · ·	4
	ECMによる執筆支援システムの開発と運用「改訂3版P2M標準ガイドブック」開発プロジェクト 特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会 古園 豊	p.4
【調査報告】	第3回 現用公文書の管理に関する実態調査について 行政機関における電子文書の利用実態報告 法務委員会 村松 信雄	p.10
【公文書管理】(2)	新たな地域創造の拠点をめざす芳賀町総合情報館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.16
【文書紹介】	わが館のお宝文書(23) 芳賀町総合情報館所蔵 芳賀町小学校資料群	p.19
【連載】(4)	ビッグデータと文書情報管理 株式会社日本能率協会総合研究所 菊池 健司	p.22
【標準化】	PDF関連規格間の互換性確保とISO32000 Part2早期成立 標準化委員会 臼井 信昭	p.29
【報告】	JIIMA 平成27年賀詞交歓会 飛躍の年を期待して	p.32
【コラム】(9)	愛犬チャコのこと 茂谷 知己	p.34
	4月号	
【調査報告】	AIIM調査報告書「紙との戦い2014」オフィス文書の動向 コダック アラリス ジャパン株式会社 楢林 幸一	p.4
【寄稿】	これからの文書管理の傾向と導入 ワークフタイル変革時代の文書管理 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 馬場 貴志	p.9
【連 載】(5)	ビッグデータと文書情報管理 株式会社日本能率協会総合研究所 菊池 健司	p.17
【コラム】(10)	そしてミミがやってきた。 茂谷 知己	p.21
【公文書管理】(3)	行政経営を支え、過去に学び未来を見つめる久喜市公文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.22
【文書紹介】	わが館のお宝文書 (24) 久喜市公文書館所蔵 旧公図	p.25
	5月号	
[トピック]	12 -	- 4
【トピック】	爆発的な市場拡大のチャンス到来 e-文書法 税務関係書類のスキャナ保存 大幅な規制緩和が実現 その1	p.4



【ケース・スタディ】	札幌市における文字情報基盤への取り組みとマイナンバー制度 ウイングアーク1st 株式会社 小島 薫	p.9
【寄稿】	脚本をアーカイブする意義と今後のあり方(1)	p.13
【連載】(6)	一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 石橋 映里 ビッグデータと文書情報管理 株式会社日本能率協会総合研究所 菊池 健司	n 17
【公文書管理】(4)	着実な長期保存で市民財産を継承する八潮市立資料館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.17
		p.22
【文書紹介】	わが館のお宝文書 (25) 藤沢市文書館所蔵 芥川龍之介 高等小学校時代の直筆原稿	p.25
【コラム】(11)	フィリピンの裁判にエーッ 茂谷知己	p.28
【講 評】	2015年2月文書情報管理士検定試験結果報告 文書情報管理士検定試験委員会 遠藤 治	p.29
【合格体験】	文書情報管理士 合格おめでとう! 合格者からのひと言	p.31
【合格体験】	文書情報マネージャー認定者からのひと言	p.32
	6月号	
【トピック】	爆発的な市場拡大のチャンス到来	p.4
	e-文書法 税務関係書類のスキャナ保存 大幅な規制緩和が実現 その2	<b>P</b> • • •
	JIIMA 長濱 和彰	
【ケース・スタディ】	複製古文書作成による文化伝承活動 富士ゼロックス株式会社 吉田 謙一	p.8
【講演録】	牧野 二郎弁護士講演より ついに動き出した政府 電子化へのうねり	p.14
	企業に求められる電子化への規制整備 IM ナレッジコンテンツ委員会 広森 順子	
【寄稿】	脚本をアーカイブする意義と今後のあり方(2)	p.19
	一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 石橋 映里	
【ガイドライン】	磁気テープを用いたアーカイブガイドラインの概要 アーカイブ委員会 磁気テープWG	p.22
【公文書管理】(5)	県史編纂から文書館へ 重要文化財公文書をアーカイブする群馬県立文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.25
【文書紹介】	わが館のお宝文書(26) 群馬県立文書館所蔵 群馬県行政文書(国重要文化財)	p.29
【コラム】(12)	国民のイメージと大きな誤解 茂谷知己	p.31
	7月号	
【講演レポート】	JIIMAセミナー 2015 クラウド・ビッグデータ時代の文書情報マネジメント	p.4
	IMナレッジコンテンツ委員会 松井 一子/広森 順子	р. т
【講演レポート】	AIIM Conference 2015 カオスを抱擁せよ ECM委員会 石井 昭紀	p.9
【寄稿】	高野山に眠る関東大震災犠牲者名簿 1万年タイムカプセル計画 溝上卓也	p.14
【コラム】(13)	当てにならない世論調査 茂谷知己	p.19
【公文書管理】(6)	先進的な提言で情報公開制度と公文書管理を一体化した理想的なアーカイブズ	p.20
	神奈川県立公文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.20
【文書紹介】	わが館のお宝文書 (27) 神奈川県立公文書館所蔵 神奈川宿本陣 石井家文書	p.23
【報告】	JIIMA 54回 通常総会・懇親会 開催	p.23
【報告】	第55期 JIIMA事業計画	-
LTX D	第35朔 JIIMA李未計回	p.32
	8月号	
【考察】	スマートフォンによる立替払い領収書のスキャナ保存プロセス	p.4
/T - L1	公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会(JIIMA)	40
【チャート】 【・・・・・	国税庁承認! ISOスキャナ評価用テストチャート	p.12
【寄稿】	デンマークのマイナンバー制度 文書管理プロジェクトマネージャ Jan Askhoej	p.14
【連載】(1)	非構造化データの活用 文書の変化と共に生まれる新たな価値 富士ゼロックス株式会社 大西 康昭・酒井 公希	p.16
【公文書管理】(7)	情報公開条例と公文書館条例 同時に施行した先進自治体川崎市公文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.22
【文書紹介】	わが館のお宝文書 (28) 川崎市公文書館所蔵 旧支所・出張所 (登戸村関係) 旧蔵文書	p.25
【標準化】	ISO TC171 Plenary 2015 統合文書管理規格 ISO19475 / PDF ISO32000など 標準化委員会	p.26
【コラム】(14)	英国の優しくて複雑な人間関係 茂谷 知己	p.29
		F5
	9月号	
【解 説】	e-文書法 税務関係書類のスキャナ保存大幅な規制緩和に関する <b>電子帳簿保存法 取扱い通達について</b> JIIMA理事(法務委員会担当) 石田 敏	p.4

【提言】	JIIMA平成28年度税制改正要望 国税関係書類の電磁的記録による保存携帯端末による記録容認など 公益社団法人日本文書情報マネジメント協会 (JIIMA)	p.8
【ケース・スタディ】	東大図書館の蔵書デジタル化トライアル 「知の活用」を支援するために 東京大学附属図書館 守屋 文葉	p.11
【コラム】(15)	神様が食べた?夫婦喧嘩 茂谷 知己	p.15
【寄稿】	「電子契約」のさらなる普及に向けて 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 大泰司 章	p.16
【連載】(2)	非構造化データの活用 非構造化データ活用のための技術 富士ゼロックス株式会社 酒井 公希	p.20
【標準化】	JIS化されたISO11506 JIS Z 6018: 2015 アーカイブ委員会マイクロメディアWG 原田 充治	p.24
【公文書管理】(8)	「ふるさとの記憶を未来へつなぐ」廃校舎を利用した常陸大宮市文書館	p.28
	IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.20
【文書紹介】	わが館のお宝文書(29) 常陸大宮市文書館所蔵 香川敬三書簡	p.31
	10月号	
【ケース・スタディ】	2015JIIMAベストプラクティス受賞事例 領収書のスキャナ保存申請までの道程	p.4
【ケース・スタディ】	株式会社ユアソフト 楢木 仁	n 0
【講演録】	PFUが実践したオフィス移転と紙文書のスリム化 株式会社PFU 江上 伸一 企業がやらなければならないマイナンバー対応 株式会社アピックス 川野 陽一	p.8
	——————————————————————————————————————	p.12
【連載】(3)	非構造化データの活用 業務への活用事例 富士ゼロックス株式会社 酒井 公希	p.15
【合格体験】	文書情報マネージャー認定者からのひと言	p.20
【考察】	「公文書管理法5年見直し」について 公文書法見直し研究会を聴講して 法務委員会 公文書WG	p.21
【公文書管理】(9)	歴史の証として開かれた公文書館をめざす沖縄県公文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.24
【コラム】(16)	顔に責任が持てません 茂谷 知己	p.30
	BRICKETO 11 CO CIO ME AND	p.50
	11月号	
【テクノロジー・スタディ】 	未来への情報遺産を救う 劣化マイクロフィルムの修復技術 株式会社吉岡映像 吉岡 博行	p.4
【ケース・スタディ】	保険業界における先進ケース管理 日本アイ・ビー・エム株式会社 三ッ谷 直晃	p.8
【講演録】	e-文書法規制緩和 緊急セミナー 新しい取扱通達とQ&A解説 IMナレッジコンテンツ委員会 広森 順子	p.13
【案 内】	試験方法が変わります! 文書情報管理士検定 コンピュータ試験実施へ	p.18
【講 評】	2015年8月文書情報管理士検定試験結果報告 文書情報管理士検定試験委員会 遠藤 治	p.20
【公文書管理】(10)	「みんなが足を運びたくなるような文書館」をめざして 図書館と連携する寒川文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.22
【コラム】(17)	顔で人間は分からない 茂谷 知己	p.26
【紹 介】	JIIMA 委員会紹介(55期)	p.27
【JIIMA委員会紹介】(1)	文書情報マネージャー認定委員会	p.32
	12月号	
71.42 13	15 -	
【レポート】	eドキュメントJAPAN2015 クラウド・ビッグデータ時代の文書情報マネジメント IMナレッジコンテンツ委員会	p.4
【ケース・スタディ】	2015JIIMAベストプラクティス受賞事例 NEXCOにおける高速道路資料の収集と保管 3年に及ぶデジタル・マイクロアーカイブ 株式会社高速道路総合技術研究所(NEXCO総研) 寺沢 直樹	p.9
【ケース・スタディ】	***************************************	- 10
[5-2.2974]	ECM導入で契約数50%増 スピーディな審査を実現した三井住友セグロス(ブラジル) Hyland Software, Inc. 半田 淳子	p.13
【調 査】	2015年文書情報マネジメント関連市場 「ユーザー動向調査」概要 JIIMA 長濱 和彰	p.17
【ガイドライン】	マイナンバー収集業務の委託先を選定する場合の安全管理措置チェックリスト 文書情報マネジメントセンター(DMC)委員会 野村 貴彦	p.20
【公文書管理】(11)	過去の失敗を教訓に「平成の合併」で歴史公文書を保存 磐田市歴史文書館 IMナレッジコンテンツ委員会 長井 勉	p.23
【文書紹介】	わが館のお宝文書(30) 広島県立文書館寄託 山野村役場文書	p.26
	相模原市立公文書館所蔵 鳥屋観測所の気象月報綴	p.27
【コラム】(18)	ビートルに乗ろうか乗るまいか。茂谷知己	p.28
【合格体験】	文書情報管理士 合格おめでとう! 合格者からのひと言	p.29
【JIIMA委員会紹介】(2)	文書情報管理士検定試験委員会	p.20



高校時代に所属していた写真部。その延長で社 会人になってからも休日になると時々カメラを持って ふらっとどこかへ出かけます。関西にある実家は、なか

なかの田舎だったので学生の頃はもっぱら自然や生き物の写真ば かりを撮っていました。しかし、現在住んでいる街、大都会THE・ TOKYO。立ち並ぶビル群に空は覆われ、一歩アパートを出て路地 をひとつふたつ抜ければ、街の中央通りを大勢の人や車が駆け抜 けていきます。そんな景色をカメラのファインダー越しに覗いていると、 つい自然が恋しくなってしまうのですが、そんな私の気持ちを知って か知らずか、すーっとある生き物が不愛想にカメラの前を横切ります。 野良猫です。上京してから知ったのですが、実は東京には猫が多く 生息しており、谷中銀座などは猫が住む町として有名です。都会の 猫と田舎の猫とでは、都会の猫のほうが若干人馴れしているせいか、 カメラを向けてもいい意味で知らんぷりしてくれます。その素っ気なさ が街の雑踏と合わさって何とも言えず良い雰囲気を作り出します。 シャッターを切り始めてからあとはもうモデルの気分機嫌次第ですが、 猫に会えた日はなんだか嬉しい気持ちになります。それはたぶん、猫 を通して街や人を写真に収めていく中で、自分自身も少しずつこの 街のことを好きになっているからだと思います。(季 弘樹)

お米には多少のこだわりがある。いつの頃からかははっきりと思い出せないのだが、厚釜タイプの炊飯器に買い替えたとか、土鍋炊きを覚えたとか、偶然買った九州のお米が最高においしかったとか……。

2010年前後だったと思うが、まあそんなことが重なって、その頃から楽しんでお米を選び、吟味しながら食べている。

11月の3連休では、たまたま目にとまった気持ちのよいグリーンがかった青い袋の青森のブランド米「晴天の霹靂」を食べた。青森県の澄んだ空に突如現れた稲妻のように食べた人たちを驚かせる鮮烈な存在になってほしい、という願いが込められているらしい。味は、私好みで、ちょうどよいもっちり感があり、かむほどに甘みが増してくる感じも気に入った。冷やご飯になっても、むしろ冷えた方がしまりがあっておいしいと感じるくらいで次の日もまたおいしく頂いた。

最近では、北海道から九州鹿児島まで全国でブランド米、特A 米が作られている。もっちり系が好きな私は、ササニシキなどは少し さっぱりしすぎていると感じるのだが、食べ方によってはさっぱりした お米が向いている場合もあるらしい。また、チャーハンやお寿司、 どんぶり飯、お弁当など、それぞれ握りやすさとか、タレのからみや すさとか、冷めてもおいしいなど、それぞれに向いているお米がある らしい。最近は少量ずつ買えるお店もあるようだし、お米を主役に した外食チェーンも増えているようだ。いろいろなブランド米を楽しみ たいと思う。 (広森 順子)

#### 〈IMナレッジコンテンツ委員会委員〉

担当理事 河村 武敏(アピックス)

委員長山際祥一(マイクロテック)

委 員 小長谷武敏 (PFU)

長井 勉(横浜マイクロシステム)

広森 順子(富士ゼロックス)

松井 一子(国立国会図書館)

秀 弘樹(国際マイクロ写真工業社)

平山 義一 (コニカミノルタビジネスソリューソンズ)

事務局 伝法谷ひふみ

#### 〈編集通信員〉

関 雅夫(光楽堂)

北村一三 (山本マイクロセンター)

Jan Askhoej (文書管理プロジェクトマネージャ/デンマーク在住)

#### 月刊IM 2月号予告

〔ケース・スタディ〕 都立中央図書館のデジタル化データのマイグレーション(移行) 〔寄 稿〕 スキャナ保存制度見直しに伴う監査人の留意事項について 税務関係書類のスキャナ保存 Q&A

※本誌内容についてご意見・ご要望等ありましたらEメールdenpouya@jiima.or.jpまでお寄せ下さい。

#### (月刊) **IM** 1月号©

2016年 第1号/平成27年12月25日発行 ©日本文書情報マネジメント協会 2015

発 行 人/長濱 和彰

発 行 所/公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 (JIIMA) 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-1-3 和光ビル7階 TEL (03) 5821-7351 FAX (03) 5821-7354 JIIMA・JCプラザ/http://www.jiima.or.jp

編集‧制作/日本印刷株式会社

印刷版 (オンデマンド) 定価 (1冊) 1,000円+消費税 (送料別) 印刷版 (オンデマンド) 年間購読 12,000円+消費税 (送料共)

印刷版 (オンデマンド) のお申し込みはJIIMAホームページから。

ISSN0913-2708 ISBN978-4-88961-161-8 C3002 ¥1000E

Journal of Image & Information Management (本誌に掲載された写真記事いっさいに関して、JIIMAの許可なく複写、転写することを禁ず)

#### 国税庁 関連取扱い通達・Q&A 全文掲載!

増補改訂「適正事務処理要件」による

税務関係書類の電子化保存 運用ガイドライン

Ver.3

2015年9月30日より適用される改正電子帳簿保存法。申請のための運用・管理とは? 発表された取扱い通達・Q&Aをより詳細に、国税庁と折衝を繰り返したJIIMAだから示せる運用指針を1冊にまとめました。

#### おもな内容

電子化文書の作成、運用及び保存に関する理念

統括管理責任者及び管理責任者の責務

適正事務処理要件

利用者の責務

実務責任者の責務

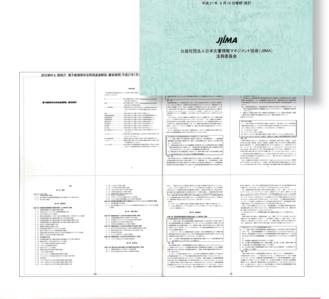
システムの機能要件

機器の管理と運用

適正事務処理要件による定期的なチェック

マニュアル及び管理記録の整備

教育と訓練



「適正事務処理要件」による 税務関係書類の電子化保存

#### 国税庁が提示する各種規程サンプルも一挙掲載!

- ・国税庁Q&A 適正事務処理規程と事務分掌細則の社内規程サンプル
- ・国税庁Q&A スキャナによる電子化保存規程サンプル
- ・国税庁Q&A 検査報告書、事務処理不備報告書サンプル
- ・国税関係書類のスキャナ保存承認申請書(記載例)
- ·ISO12653-3 スキャナ評価用テストチャート (コピー)
- ・国税庁Q&A 「スキャナによる電子化保存規程」の請求書事例の処理フローサンプル
- ・検索・一括検証の例
- ·国税庁 電子帳簿保存法取扱通達解説(趣旨説明)平成27年7月3日改定
- ·国税庁 電子帳簿保存法Q&A平成27年7月10日改定

購入は JIIMAホームページ [出版物・販売品/ガイドライン・解説書]へ http://www.jiima.or.jp/publishing/hanbai cd.html

頒布価格

3,500円(会員 3,000円)/税込

お問合せは 公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 (JIIMA) 事務局 03-5821-7351



### KIU会員に お任せください。

業務効率化や情報共有化、BCP(事業継 続計画)策定、災害時や情報セキュリティ などの対策においてデータ管理だけでなく 保管する文書や記録についてさまざまな課 題が山積しています。

さらにIT技術の進化は、情報端末、コン テンツ、クラウドなど目まぐるしく変化し ています。

私たち、経験豊富で高い技術力を持つ関 東イメージ情報業連合会(KIU)会員各社 はドキュメントサービスのプロフェッショ ナルとして、文書情報管理における多様化 する課題(保存と活用など)とお客様のニーズ に最適なご提案をいたします。

(KIUは、各種記録媒体への入出力と記録保存、システム 開発、資料保存に関するコンサルティングサービス等を業務と する右記の関東一円の企業で組織された業界で唯一の団体 です)

(有)飯島写真製作所	
〒286-0041 成田市飯田町188-4	
www.iijima-co.com	0476-27-2345
(株)インフォマージュ	
〒104-0054 中央区勝どき2-18-1	
www.infomage.jp	03-5546-0601
エイチ・エス写真技術(株)	
〒210-0015 川崎市川崎区南町16-20	
www.hs-shashin.co.jp	044-244-5121
エヌビーアイ(株)	
〒102-0083 千代田区麹町5-7-2	
www.nissho-bi.co.jp	03-6380-8152
(株)エヌユーエス	
データ & メディアトランス事業部	
〒136-0075 江東区新砂1-12-39	
www.nus.co.jp	03-5665-6173
関東インフォメーションマイクロ(株)	
〒320-0071 宇都宮市野沢町602-2	
http://kantoinfo.net	028-665-9777
(株)ケー・ビー・アイ・エス	
〒140-0013 品川区南大井6-16-16	03-6436-8441
	03-0430-0441
(株)国際マイクロ写真工業社	
〒162-0833 新宿区箪笥町4-3	00.0040.5001
www.kmsym.com	03-3260-5931
桜工業写真(株)	
〒141-0031 品川区西五反田8-3-13	03-5436-1821
(株)サンコー	
ビジネスソリューション東京事業部	
〒104-0045 中央区築地3-5-4	
www.sancoh.co.jp	03-3541-2035
(株)サンマイクロ	
〒156-0051 世田谷区宮坂2-12-4	03-3425-0431
(株)ジェイ・アイ・エム	
〒102-0072 千代田区飯田橋3-1-11	
••	

03-5212-6001

03-3761-1301

www.jim.co.jp

〒143-0006 大田区平和島5-8-4

(株) ジムサポート

ドキュメント・サ

### ービスのプロ集団

中央光学工業(株)

〒141-0031 品川区西五反田8−3−6 www.kkmiura.com

### ジタル記録管理とマイクロフィルム入力・変換/長期保存対策

幸商事(株)

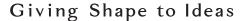
〒112-0012 文京区大塚3−14−6	03-3943-7411	〒238-0006 横須賀市日の出町2−5 www.bs-miyuki.co.jp	046-822-4976
中央光学出版(株) 〒105-0003 港区西新橋3-11-1 www.cks.co.jp	03-6271-5561		03-6278-8432
(株)ディック 〒183-0026 府中市南町2−6−38 東京ソフト(株)	042-336-3851	<b>ムサシ・イメージ情報(株)</b> 〒135-0062 江東区東雲1−7−12 www.musashi-ij.co.jp	03-6228-4056
〒140-0014 品川区大井1-28-1 www.tokyosoft.com	03-5746-3072	(株)ムサシ・エービーシー 〒104-0045 中央区築地2-11-26	
東京都板橋福祉工場 〒175-0082 板橋区高島平9-42-1 www.jcws.or.jp/	03-3935-2601	www.musashi-abc.co.jp/ ムサシ・フィールド・サポート(株) 〒1040061 中央区銀座8-20-26	03-5565-8301
<b>東日情報処理センター(株)</b> 〒321-0983 宇都宮市御幸本町4864 www.toh-nichi.co.jp	028-663-1221	www.musashi-fs.co.jp (有) <b>八千代マイクロ写真社</b> 〒276-0047 八千代市吉橋1834-2	03-3546-7779
www.con inclineo.jp ナカシャクリエイテブ(株)東京支店 〒105-0013 港区浜松町2−2−3	020-003-1221	T2/0-004/ / 八十八、田 音橋1834-2 www.yachimai.co.jp 山崎情報産業(株)	047-450-1616
www.nakasha.co.jp (株)ニチマイ	03-5401-3636	〒101-0032 千代田区岩本町1−12−3 www.yamajo.co.jp	03-3866-1156
〒113-0033 文京区本郷1−10−9 www.nichimy.co.jp	03-3815-1231	(有)大和マイクロサービス 〒242-0022 大和市柳橋4-15-8	046-263-7255
(株)プリマジェスト ソリューションビジネス本部 統括 2 部 〒212-0013 川崎市幸区堀川町580		(有)山本マイクロシステムセンター 〒381-2221 長野市川中島町御厨1963-5 www7.ocn.ne.jp/~imsymsc/	026-283-5353
www.primagest.co.jp (株)福祉工房アイ・ディ・エス	044-578-5122	(株) <b>横浜マイクロシステム</b> 〒220-0061 横浜市西区久保町13−25 www.ymsystm.com/	045-242-0695
〒191-0003 日野市日野台5−22−37 www.fukushiids.com	042-584-6161	(株)れいめい 〒130-0023 墨田区立川4-5-10	040-242-0033
富士マイクロ(株)東京支店 〒105-0004 港区新橋1-18-21 www.fujimicro.co.jp/	03-6869-0862	www.reimei.com/	03-3634-2100 (50音順)
(株)ミウラ 東京支店			(50 H MR)

03-5436-3211



#### 関東イメージ情報業連合会

〒104-0054 東京都中央区勝どき2-18-1 黎明スカイレジデル (株)インフォマージュ内 TEL / FAX (03)6204-2761





省スペースと高性能を両立したデジタルフィルムスキャナー

#### マイクロフィルムスキャナー

### **SL1000**

- 設置場所を選ばない軽量・小型設計
- ●レンズ交換が不要な6.8~54倍の超ロングズーム、電子ズームとの併用で105倍まで表示可能
- 最大600dpiの高解像度
- カラーマイクロフィルム画像の電子化が可能
- タッチパネルに対応した専用アプリケーションを標準装備

PCと共にデスクトップに設置可能なデジタルフィルムスキャナー。 優れた再現力と対応力で、様々な形態のフィルムを鮮明に読み取り可能です。 専用アプリケーション「SL-Touch」はタッチパネルディスプレイに対応し、 マイクロフィルムのデジタル化をスムーズに行えます。

※写真はオプションを装着した状態です。





他にも、高速・高画質なマイクロフィルムスキャナーを 取り揃えております。

### MS7000MKII MS6000MKII

※写真はMS7000MKIIです。



ブックスキャナー

書籍原稿を鮮やかにデジタル化するフェイスアップスキャナー

### **EPICWIN 5000CMKII**

- A3サイズ対応、原稿上向きセット方式スキャナー
- フルカラー・グレー・モノクロ2値でスキャニング可能
- 最大600dpiの高解像度
- ブックスキャンに適した各種デジタル処理技術を搭載

● 軽量化&小型化を実現

ブック補正機能により、書籍原稿の原稿曲がり、 文字縮み補正、綴じ部分削除、指消し、枠消し、 センタリングなどの機能で、書籍原稿やシート 原稿を美しく再現することを可能にしました。





フルカラー・フェイスアップブックコピーシステム

### BookPro 5000CMKII

貴重な文献や分厚い書籍を上向きのまま読み取り、 原稿を傷めることなく、簡単・きれいにコピーできます。

※写真はオプションを装着した状態です。 ※コインベンダー対応可能。

#### コニカミノルタ ビジネスソリューションズ 株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング26F

http://bj.konicaminolta.jp

●商品に関するお問い合わせは 😈 0120-805039 受付時間/9:00~12:00~13:00~17:00(土、日、祝日を除く)



## さらなる効率向上へ、「分散入力」への挑戦。

確かな技術と高品質。 紙文書電子化のグローバルスタンダード、 FUJITSUイメージスキャナ「fiシリーズ」





fiシリーズの詳しい情報は

fiシリーズ

検索

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために



文書情報 管理士 *JļÍMA* 

今、企業・官公庁では文書管理が重要になっています。

マイナンバー制度や個人情報の保護など、文書管理の重要性が求められています。

書類を安全に保管するのにはどうすればいいのでしょうか?

文書管理が会社の存続に関わるって知っていますか?

文書管理に関する法律と規格を知っていますか?

さあ、文書情報管理士の出番です。

### 試験方法がCBT方式に変わりました。

試験期間/2015年12月20日(日)~2016年2月10日(水)

試験会場/全国160か所 [申込期間] 2015年11月1日(日)~2016年1月31日(日) [受験料] -般:10,800円(税込) 学生:7,020円(税込) [受験級] 2級、1級、上級

> お申込み、詳しいご案内は ホームページをご覧ください www.jiima.or.jp